

令和3年度 事業報告書目次

I	建学の精神・理念	1
	(1) 燈影学園校是	1
	(2) 学園歌	1
	(3) 建学の精神	1
	(4) 教育理念と教育方針	1
	(5) 沿革	2
II	令和3年度事業のあらまし	6
III	学校法人の概要	9
	(1) 設置する学校の概要	9
	(2) 役員の概要	10
	(3) 評議員の概要	10
	(4) 教職員の概要	11
IV	理事会開催の記録	12
	《令和3年度 一燈園小学校・一燈園中学校・一燈園高等学校が目指す姿》	14
V	令和3年度 事業計画	17
VI	令和3年度事業実績報告	23
	(1) 寄附金の募集	23
	(2) 施設・設備関係	23
	(3) 基礎学力の徹底	23
	① 国語力向上	23
	② 漢字能力向上	24
	③ 外国語能力向上	24
	④ 繰り返し指導	24
	⑤ 習熟度別指導	24
	(4) 特色ある教育の推進	25
	① 一燈園学習	25
	② 平和学習・人権学習	27
	③ 伝統文化学習	29
	④ 自然体験学習	30
	⑤ 幼稚園・小学校一貫教育の推進	31
	⑥ 子育て支援事業の推進	31
	⑦ 情操教育	32
	⑧ 安全教育	33
	⑨ キャリア教育	33
	(5) 国際理解と国際交流の推進	34
	(6) 広報・幼児児童生徒募集活動の強化・活性化	34
	(7) 地域社会への貢献	34
	(8) 天香奨学金	35

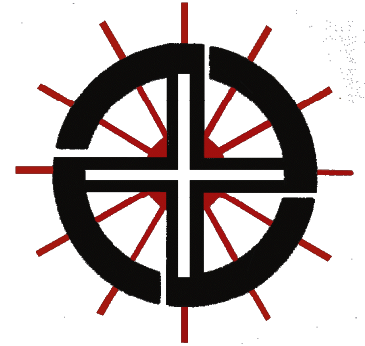
(9) 教師力向上	35
(10) 進路実績	35
(11) 経済的な事情のある児童生徒への支援	35
(12) 働き方改革への対応	36
VII 学校評価結果	37
(1) 自己評価結果	37
(2) 学校関係者評価結果	38
VIII 令和3年度決算	46
〈学校会計について〉	46
(1) 収支計算書	48
(2) 財務分析	51

I 建学の精神・理念

(1) 燈影学園校是

行 餘 學 文

(行じて余力あれば文を学ぶ)



(2) 学園歌

このくらし

西田天香 作詞

近藤義次 作曲

このくらし ^{おし}せよと^{おし}教えて おのれ^{おし}まず
^{ぎよう}行じたまいし ^{ちちはは}父母とうと

(3) 建学の精神

「行餘學文」(行じて余力あれば文を学ぶ)は論語『学而篇』にある一節である。

その意は

「人間が生きていくには学問は最も大切なものである。

しかし、その学問に勝って更に大切なものが行である」にある。

一燈園の教育は、昭和5年の一燈園生活者の子弟のための燈影小塾という私塾に始まる。

一燈園生活者とは、西田天香の一燈園生活の精神に共鳴し、その「争いの種とならない生活」実践を行っている人々のことであり、その思想の中心は『自分自身の存在が既に争いの種となっている可能性を懺悔しながらも、大自然に生かされていることに感謝し、大自然への恩に報いるために、行を行う』ところにある。

そのため、昭和8年の尋常小学校としての正式認可後も、教科の学習はもちろんであるが、争いのない生活を求める精神性と実践性を大切にしてきた。

昭和42年度に地域の一般家庭の就学前の子弟を対象としたいずみ幼稚園を開園し、平成元年度には小学校・中学校・高等学校も一般家庭の子弟の募集を開始。本学園に学ぶ幼児児童生徒は一般家庭の子弟がほとんどとなった。しかし、「大自然に感謝しながら、大自然への恩に報いるために行じる」という本学園の教育の本質は変わらない。

現在では、それぞれの幼児児童生徒が、学問を通した日常生活のなかで天性を磨きながら自分にふさわしい「行」とは何かを模索している。

(4) 教育理念と教育方針

本学園は西田天香が創始した「一燈園生活」の精神の下に「大自然に^{かな}適う教育」を行っている。一燈園はいわゆる宗教ではないが、創始者の願である「個人の完成と成就」と「人類平和に寄与できる人材育成」を目標に、人格形成の基礎が身につくよう

「祈り」「汗」「学習」を三本柱とした一貫教育を行っている。

一燈園生活の実践のためには「許されて生きる」生活教育、「全ての宗教の真髄を尊ぶ」宗教教育、「人類普遍の理による」平和教育が必要であり、教室でのテキスト学習や自ら汗を流す体験学習で「自分のいたらない点への反省」や「弱者と喜びや悲しみを共有」する精神を養い、「他者への奉仕」を実践することで「個人の完成と成就」と「人類平和に寄与できる人材育成」を完成させる。

また、ここでいう「祈り」とは、自己の生命の根源を探る中から大自然の神秘性に気づき、大自然・家族・友人へ感謝する普遍的な宗教性・精神性であり、一宗派教派の礼拝とは異なるものである。

「汗」は、奉仕活動など自ら汗を流すことにより社会のお役に立つ体験を行うことであり、単なる労働の汗ではなく、又もちろん、いわゆるスポーツの汗でもない。

「学習」は基礎・基本の徹底に重点を置いた学習を行っている。カリキュラムも進学・受験を目指したものではないが、卒業生の中には国公立大学へ進学した者も出ている。

(5) 沿革

明治 5 年	2 月 1 0 日	天香さん 滋賀県長浜町（現長浜市）に誕生
明治 3 7 年		天香さん 長浜愛染明王堂に参籠、赤児の泣き声に大覚、新生活始まる
大正 1 3 年	1 1 月 3 日	「燈影小塾」開設
昭和 5 年	7 月	光泉林の地に燈影学園幼稚部及び小学部誕生
昭和 8 年	8 月 3 1 日	「燈影学園尋常小学校」設立認可。学校長に相武次郎氏就任
昭和 1 2 年	9 月	相武次郎氏、帰光。鈴木五郎氏、学校長に就任
昭和 1 4 年	3 月	燈影尋常小学校に高等科併置
昭和 1 6 年	3 月	鈴木五郎氏、学校長退任。伯左門氏、学校長に就任
昭和 1 6 年	4 月	国民学校令による燈影学園と改称
昭和 1 7 年	3 月	伯左門氏、学園長退任。笹原仁太郎氏、学園長に就任
昭和 1 7 年	8 月	「一燈園夏の集まり」に「小国民班」を編成
昭和 2 1 年	4 月	燈影学園「青年学校」正式認可
昭和 2 1 年	1 0 月	青年学校夜学開講
昭和 2 2 年	5 月 1 日	学制改革に基づいて一燈園中学校が設置認可
昭和 2 4 年	4 月	燈影学園に夜間制の高等部を置く
昭和 2 6 年	3 月 8 日	学校法人令による「学校法人燈影学園」認可
昭和 2 7 年	3 月 3 1 日	一燈園高等学校（定時制課程）が設立認可
昭和 3 0 年	4 月	大学林（高等学校専攻科）設置
昭和 3 0 年	6 月	六万行願歌「あめつちの」燈影学園歌「このくらし」作曲
昭和 3 4 年	1 1 月	伊勢湾台風被災地に高校生托鉢出動
昭和 3 8 年	8 月	燈影学園 3 0 年記念式及び学校行願奉仕
昭和 4 2 年	2 月 1 日	いずみ幼稚園設立認可
昭和 4 3 年	2 月 2 9 日	天香さん御帰光。「福の日」となる

昭和43年	3月	「一燈園天香さん」本葬。西田武氏学園理事長就任
昭和43年	8月	学園プール完成竣工式
昭和46年	4月	一燈園高等学校夜間定時制より、昼間定時制に切り替え
昭和47年	10月	笹原仁太郎校長、学制発布満百年記念の教育功労者として表彰
昭和48年	10月	天香さん生誕百年記念事業として、学園新校舎落成式
昭和51年	5月	いずみ幼稚園創立10周年記念式典
昭和53年	2月	一燈園高等学校ユネスコクラブ国際理解教育活動奨励賞受賞
昭和54年	3月	木村淳蔵氏、いずみ幼稚園長退任
昭和54年	4月	笹原仁太郎氏、学校長退任。村田正喜氏、学校長に就任
昭和55年	4月	大河内亮璋氏、いずみ幼稚園園長に就任
昭和58年	3月	大河内亮璋氏、いずみ幼稚園園長退任。稲川満秋氏、園長に就任
昭和58年	5月	一燈園大学林主催の市民講座「わびあい講座」始まる
昭和58年	8月28日	学園50周年記念の集い 記念誌「学園50年の歩み」発行
昭和62年	4月	ホームガーデン（幼稚園預かり保育）開始
平成元年	4月	一燈園小学校 門戸開放（光友子弟受け入れ開始）
平成元年	4月	一燈園高等学校4年制から3年制へ制度改正
平成2年	4月	村田正喜氏、学校長退任。相大二郎氏、学校長就任
平成5年	7月	北海道南西沖地震 高校・大学林有志 奥尻島へ災害救援活動
平成6年	4月	一燈園小学校全クラス単式化
平成6年	4月	大学林募集停止
平成6年	10月	高校生・大学林生の奥尻島でのボランティア活動に対して国際ソロ プチミスト財団より「青少年ボランティア賞」受賞
平成7年	1月	グラウンド（第2運動場）造成
平成7年	3月	阪神大震災 被災児童の短期間通学受け入れ
平成7年	3月	高校生 阪神大震災災害救援活動
平成7年	6月	一燈園中学校 水質検査により環境庁より「水環境賞」受賞
平成8年	4月	体育館 完成披露
平成9年	3月	一燈園旧研修道場を「北校舎」として借用
平成16年	4月	一燈園生活創始100周年記念式典
平成16年	9月	イギリスのボランティア団体「プロジェクト・トラスト」よりギャ ップ・イヤー・ステューデント2名を受け入れ（以降毎年）
平成16年	10月	高校生 平成16年台風23号による水害被災地災害救援活動
平成16年	11月	相学園長 京都府知事より「教育功労賞」受賞
平成19年	4月	いずみ幼稚園 未就園児保育（りんご組）開始
平成19年	8月	一燈園中学校・高等学校夏期学校「大愚塾・夏安居」開催
平成20年	4月	小・中・高教員組織改編
平成20年	4月	国際研修センター 改修工事完了
平成20年	5月	本校舎増改築完了
平成20年	6月	相学園長 京都私学振興会より「特別賞」受賞
平成20年	10月	「燈影学園創立75周年記念式典」

		「燈影学園創立75周年史」発刊
平成21年	6月	一燈園中学校・高等学校『能・謡曲』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
平成22年	3月	プール耐震改修工事完了
平成22年	6月	一燈園小学校『珠算』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
平成22年	12月	文部科学省より「教育課程特例校」として指定
平成23年	4月	東日本大震災被災児童一時受け入れ
平成23年	8月	高校生有志 東日本大震災被災地行願
平成24年	4月	パリ・ユネスコ本部よりユネスコスクール認定
平成24年	11月	相学園長「教育者・文部科学大臣表彰」受賞
平成24年	12月	日本ボランティア協会より「アレック・ディクソン賞」受賞
平成25年	4月	西田徳子氏、幼稚園園長退任。佐久間友子氏、幼稚園園長に就任
平成25年	9月17日	平成25年台風19号による土砂災害により休校
平成26年	6月	一燈園小・中・高等学校『洋舞・リトミック』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
平成26年	10月24日	一燈園高等学校全日制課程設置認可
平成26年	11月	北校舎（旧一燈園研修道場）修繕完工
平成27年	3月	いずみ幼稚園 北園舎耐震改築工事完工
平成28年	1月13日	一燈園高等学校定時制課程廃止認可
平成28年	5月	高校生有志 熊本地震被災地災害救援活動
平成28年	6月	一燈園小・中学校『日本舞踊』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
平成28年	8月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ、「全国中学生少林寺拳法大会」男子団体演武の部で優勝 「京都府スポーツ賞」「山科未来賞」「京都新聞ジュニアスポーツ賞」受賞
平成29年	4月	事業所内保育施設「燈影ホームガーデン」開設
平成29年	6月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ、京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅰ」受賞 安田壮翔（一燈園中学校3年）、尺八演奏に対して京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅱ」受賞
平成29年	8月	一燈園中学校少林寺拳法クラブ「少林寺拳法世界大会（アメリカ・カリフォルニア州）」出場 一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「全国高等学校総合体育大会（南東北大会）」に初出場
平成30年	10月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「少林寺拳法全国大会」高校生団体の部で優勝
平成30年	10月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ「少林寺拳法全国大会」高校生団体の部で優勝
令和 元年	6月	一燈園高等学校少林寺拳法クラブ、京都私学振興会より「文化スポーツ活動賞Ⅰ」受賞

令和 2年 3月	新型コロナウイルス感染症対策により、休校（5月まで）
令和 2年 4月	佐久間友子氏、幼稚園園長退任。池田慶子氏、幼稚園園長に就任 相大二郎氏、学校長退任。村田俊喜氏、学校長就任
令和 2年 6月	一燈園小学校『和太鼓』京都私学振興会より「振興会賞Ⅰ」受賞
令和 2年10月	一燈園小学校・一燈園中学校 新型コロナウイルス感染症の影響により例年の広島（原爆祈念館）・愛生園に代わり、舞鶴引揚げ記念館を中心とした平和学習旅行・人権学習旅行を実施
令和 3年 4月	いずみ幼稚園 満3歳児保育開始 燈影ホームガーデン園舎移転
令和 3年10月	西田武理事長 京都府知事より「教育功労賞」受賞

Ⅱ 令和３年度事業のあらまし

(１)学校法人としての流れ

令和３年度は、燈影ホームガーデンでは園舎を移転し、いずみ幼稚園では満３歳児（２歳児）保育を開始し、９月からは選択制で業者弁当による給食を開始した。

教育活動においては、令和２年度にひきつづき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による制約が続いていた。行事の中止や規模の縮小などの対応が必要となる中でも、できる範囲を拡大したり新たな方法を模索するなど、少しずつ学校の日常を取り戻せるよう試行する１年であった。

また、感染症対策として国庫補助金を活用して実施する予定であった校舎トイレの改修工事は、複数の工事業者からの見積もりを比較検討した結果、令和３年度は見送り、令和４年度に向けて業者と調整を行うこととした。

(２)一燈園高等学校

新型コロナウイルス感染症対策のため「作務」先を学園山林、ホームガーデンに限定し、特に校内・一燈園敷地内の清掃・整備等を中心に行った。

進路指導においては、３年生のうち３名が大学、２名が短期大学に進学した。

感染症対策のため多くの行事が中止になるなか、小・中・高等学校合同の運動会は高校生が主体となって工夫を凝らして行うことができた。

部活動においては、少林寺拳法部が全国高等学校総合体育大会では、男子団体演武の部で８位、全国高等学校少林寺拳法選抜大会では、男児自由組演舞の部で７位の成績を収めた。バドミントン部は１名が全国高等学校体育大会京都府予選、近畿大会予選に出場した。音楽クラブが１０月に大階段パフォーマンスに出場する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により出場を辞退した。

(３)一燈園中学校

基礎学力の習得に重点を置き、一人ひとりの知識・技能の定着を図るとともに、定着が充分でない生徒については、放課後の個別指導で対応した。一方で覚醒との興味・関心の高い分野について、高等学校と連携しつつ、自主学習などで自らを高めることができるよう支援している。

授業に能、日本舞踊、洋舞などを取り入れてその道の専門家に指導を仰ぎ、所作振る舞いを含め、形を守ることの大切さ、そこに込められた美しさを学んだ。また、奉仕活動の一環として「作務」を授業に取り入れており、清掃や草抜き、山林の樹木伐採の手集い、季節に伴う竹の子掘りや梅ちぎり等の作業を行った。

毎日の清掃・掃除への取組は「黙（黙って）」で行い、その日の自分を見つめ直す時間として最も重視している。中でも１１月末の霜月接心では、朝課前に正座・瞑想する時間を取り、同時に行った疎水の橋での「あいさつ運動」「街頭清掃活動」とともに「心に接する」時間を過ごすことができた。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの学校行事を行えなかったが、

小・中・高等学校と合同の運動会では高校生とともに競技の企画・運営を行った。

毎年6月に実施している「人権学習旅行」は2泊3日の予定を1泊2日に短縮したが、10月にハンセン病療養所長島愛生園を訪問し、ハンセン病の歴史を通して人権について学んだ。

部活動では、少林寺拳法部、バドミントン部、音楽クラブ、家庭科クラブ、今年度新たに設置された美術同好会のいずれかに過半数が所属し活動した。

少林寺拳法部は全国中学生大会に出場が決まっていたが、会場周辺に特別警戒警報が発令されたため中止となった。バドミントン部は4名が各種大会に出場し1名が京都市選手権総合大会において予選通過、全市大会へ出場した。

(4)一燈園小学校

児童の学力向上、基礎・基本の定着を図るため、校内研究を行い教員の授業力向上に努めた。

又、合理的配慮が必要な児童を図書室を利用して個別指導を行った。

各クラスでも放課後の時間を活用して補習授業を行うなど、学力の定着を図った。

運動会、秋・春の学習発表会では、年齢を超えて力を合わせ目標に向かって取り組んだ。

「天香さん学習の時間」では、学年に応じて一燈園同人の家庭をまわり「路頭」体験も行った。天香さん学習と道德の連携を図り、系統立てた指導を行った。

例年6月に実施している「平和学習」も何度か延期したが、京都府内の舞鶴引揚記念館を中心とした平和学習とした。

放課後や夏休みの学童保育を行い、子ども達の健やかな成長のために力を尽くした。また、英語活動の充実や、希望者のみではあるが珠算塾の分教場やリトミック教室など、学童保育の充実を図った。

(5)いずみ幼稚園

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項として日々の消毒や園児の手洗い、ソーシャルディスタンスをとる感染防止を徹底。令和2年度のコロナ禍での保育や行事を元に再度見直しを行った。感染状況の拡大による緊急事態宣言や蔓延防止期間中の行事の中で中止や変更はその都度保護者に説明をして理解と協力のもと行った。3学期は園児の感染、職員の子どもの学校の閉鎖による欠勤のための休園、学級閉鎖の措置をとった。また、感染による長期欠席の園児には制作や絵画等の課題を送り家庭保育の提供を行った。

満3歳児（2歳児）保育を開始したが、4月当初は6名からのスタートであった。満3歳の誕生日を迎えると保育料の無償化の対象となることから2学期からは途中入園児が増え、年度末には14名（定員15名）となった。秋には教員2名で他園の2歳児保育を見学し、後半の2歳児保育の遊びの姿と身辺自立等の教員の関わりを学んだ。改めて環境整備の重要性、発達に合わせた個々への丁寧なおおらかな教師の関わりが心身の発達の糧になることを確信した。

「学年・異年齢の関わりの中で、友だちとの共感力を高め、一緒に生活する友だち・保育者の存在を大切にできる環境・活動」を令和３年度の目標として保育のテーマを全員で月ごとに考えて遊びの環境を設定し実践していった。３学期には「あこがれタイム」と称して年長のリレーや側転、縄跳び、コマ回し等を他学年に披露し、一緒に遊ぶ時間を設けることで年長への進級の期待や喜びを持てるようになった。

（６）燈影ホームガーデン

燈影ホームガーデンは、令和２年度中に園舎の改修を終え、令和３年４月から保育室を移転した。

令和３年度から新たに、教職員の子など３歳以上の幼児のいずみ幼稚園休園日の一時預かり保育に加えて、いずみ幼稚園の満３歳児（２歳児）保育の開設に伴い、満３歳の誕生日までの園児の延長保育や幼稚園休園日の一時預かり保育を行った。

４月当初２歳児３名からスタートしたが、０歳児２名、１歳児１名の途中入園があったほか、いずみ幼稚園の園児の一時預かり保育として延べ５０名ほどの保育を行った。

児童育成協会等からの監査による指摘事項への対応も含めて、保育内容の充実を図った。

毎日の保育や１年間の保育の流れもでき、子ども達が心身健やかに成長できる環境が整ってきた。園舎移転や新型コロナウイルス感染症の影響により清風寮のお年寄り達との交流は難しくなったが、広がった保育室や園庭を活用して、季節ごとの行事や避難訓練を行った。

Ⅲ 学校法人の概要

(1) 設置する学校の概要

令和4年3月31日現在、設置する学校は次の通りである。

一燈園高等学校 全日制課程 普通科

定 員 75名（3学年 各学年1クラス）
生徒数 19名（男子 12名、女子 7名）

一燈園中学校

定 員 60名（3学年 各学年1クラス）
生徒数 32名（男子 18名、女子 14名）

一燈園小学校

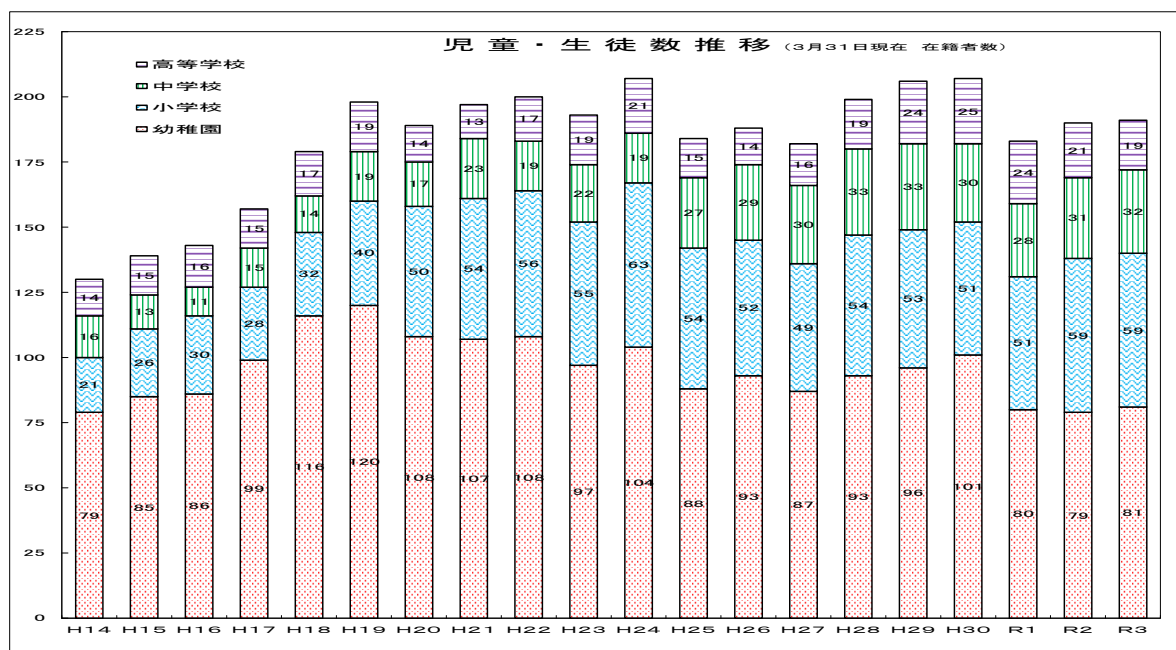
定 員 120名（6学年 各学年1クラス）
児童数 59名（男子 31名、女子 28名）

いずみ幼稚園

定 員 240名（7クラス）
園児数 81名（男子 42名、女子 39名）

燈影ホームガーデン

定 員 9名（0歳～2歳）
園児数 7名（男子 2名、女子 5名）



(2) 役員の概要

令和4年3月31日現在の役員は次のとおりである。

理事 6名（定員7名）

氏 名	選任区分		
村 田 俊 喜	第6条1項1号	一燈園高等学校の校長	1名
西 田 武	第6条1項2号	一般財団法人懺悔奉仕光泉林の理事及び評議員の互選	1名
西 田 順	第6条1項3号	燈影学園評議員の互選	2名
山 田 剛 志			
中 井 武 文	第6条1項4号	燈影学園維持会の会員	1名
谷 野 了	第6条1項5号	この法人に関係ある学識経験者	2名
相 大 二 郎			

監事 2名（定員2名）

氏 名	選任区分		
木 村 右 次	第7条1項		2名
岩 渕 か よ			

(3) 評議員の概要

令和4年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

氏 名	選任区分		
池 田 慶 子	第17条1項1号	いずみ幼稚園の園長	1名
増 田 さやか	第17条1項2号	一燈園中学校の教頭	1名
西 田 久美子		一燈園小学校の教頭	1名
西 田 順	第17条1項3号	この法人が設置する学校・幼稚園の教諭・事務職員	2名
山 田 剛 志			
野 田 龍 三	第17条1項4号	一般財団法人懺悔奉仕光泉林の理事及び評議員の互選	1名
境 台 二	第17条1項5号	25歳以上のこの法人が設置する学校・幼稚園の卒業生	4名
谷 野 寅 蔵			
荒 木 幹 太			
瀧 川 賢 治			
笹 原 城 六	第17条1項6号	燈影学園維持会の会員	1名
瀧 悌 治	第17条1項7号	この法人に関係ある学識経験者	4名
松 浦 三 郎			
宮 辻 昭 次			
藤 田 民 子			

(4) 教職員の概要

令和4年3月31日現在の各学校の教職員の配置状況は次のとおりである。

			高等学校	中学校	小学校	幼稚園	ホームカージーン	計		
専任教員・保育士	校長(園長)		1			1		2		
	教頭(副園長)		1		1			2		
	教諭	国語		1		5	3	2	18	
		社会	地理歴史		2					
			公民							
		数学		1						
		理科								
		外国語(英語)		3						
		保健体育		1						
	養護教諭		1					1		
	常勤・短時間	数学		4		6	4	16		
		理科							1	
		外国語(英語)								
		美術							1	
	職員	事務長								
事務職員		4			2		6			
その他の職員		1			1	1	3			
非常勤職員		4				4	8			
非常勤講師	一般教科	国語							8	
		数学		1	1					
		理科		1	1					
		音楽		1		1				
		家庭		1						
		技術・情報		1						
		英語								
	特別教科	謡曲・能		1(3)					6(4)	
		日本舞踊			1					
		リトミック		1						
		珠算				1(1)				
		剣道			1					
		被服		1						

() 内には助手等の人数を計上している

IV 理事会開催の記録

令和3年度理事会は下記の通り開催された。

令和3年度第1回理事会

開催日時	令和3年5月27日（木）午後2時～午後3時30分
出席理事	西田 武・村田俊喜・相 大二郎・西田 順・山田剛志・谷野 了
オンライン出席理事	中井 武文
出席監事	木村 右次
欠席監事	岩渕 かよ
議 案	(1)令和2年度決算について (2)令和2年度事業報告について (3)令和3年度第1次補正予算について (4)その他

令和3年度第2回理事会

開催日時	令和4年2月24日（木）午前10時～午前11時30分
出席理事	西田 武・村田俊喜・西田 順・山田剛志・相 大二郎
オンライン出席理事	中井 武文
欠席理事	谷野 了
出席監事	木村 右次
欠席監事	岩渕 かよ
議 案	(1)令和3年度第二次補正予算について (2)一燈園小学校、一燈園中学校学則変更について (3)就業規則改訂について (4)経理規程改定について (5)燈影ホームガーデン運営規程変更について (6)その他 ①学校関係者アンケートについて ②創始100周年について

令和3年度第3回理事会

開催日時	令和4年3月31日（木）午前10時～午前11時30分
出席理事	西田 武・村田俊喜・西田 順・山田剛志・谷野 了
オンライン出席理事	中井 武文
意思表示書提出理事	相 大二郎
出席監事	木村 右次
欠席監事	岩渕 かよ
議 案	(1)令和3年度第3次補正予算について (2)令和4年度事業計画について

- (3)令和4年度収支予算案について
- (4)一燈園高等学校学則変更について
- (5)その他

《令和3年度 一燈園小学校・一燈園中学校・一燈園高等学校が目指す姿》

（１）共通事項

①建学の精神・教育理念に関する事項

- 『行餘學文』の校是のもとに、人間としての生き方を探求します。
- 「懺悔」、「下坐」、「奉仕」の精神を中心とした、一燈園生活の精神を学びます。

②教育目的・教育方針に関する事項

- 世界平和に貢献しうる人材の育成を目指します。
- 「祈り」「学習」「汗」の３本柱を中心とした人間教育を目指します。
 - ◇祈り…大自然への感謝、自分自身への内省を中心とした、宗派教派ではない普遍的な宗教心を養います。
 - ◇学習…国語、数学、英語などの教科科目はもちろん、日本の伝統文化や異文化理解について理解を深め、国際社会に通用する教養を身につけます。
 - ◇汗…他者のために汗を流すことを体験し、実践する力を養います。

③教育活動に関する事項

- 教育職員の校内・校外研修を充実させ、教育職員の質を向上させます。
- 習熟度に応じて全ての児童生徒が授業の内容を理解し、興味を抱ける授業を目指します。
- 実習科目、実技科目の充実をはかり、児童生徒の意欲を高めます。
- 奨学金制度の充実を図ります。
 - 経済的な事情のある家庭に対して授業料の減免を実施します。
 - 兄弟姉妹が在籍する家庭に対して授業料の減免を実施します。
- 課外活動
 - 社会福祉活動（ボランティア活動）を充実させます。
 - 他校との交流を図ります。

④学校の将来についての中期的展望

- 児童生徒数を各学年１５名を目指して募集活動を行います。
- 天香学習の確立に向けて、年齢に応じた学習方法を検討します。

（２）一燈園高等学校

①一燈園高等学校が目指す生徒の姿

- 大自然によって活かされていることに感謝します。
- 生きていることの意味を見つめます。
- なすべきことを理解し、自ら行動します。

②教育課程

- 国語、数学、英語の３教科に重点を置き、習熟度に応じた学習を実施します。
- 外国人との交流を通しての異文化理解、謡曲を通して日本の伝統文化理解を充実させ、真の国際人の育成を図ります。

③作務

- 他者のために奉仕をする活動を通して、自ら汗をかくことの尊さや、互いを尊重して協力することの大切さに気づきます。

④生活指導

- 寮生活の中で協調性や規律性を高めます。
- 履き物をそろえることや、椅子をしまうこと、その他清掃活動を通して、後始末をすることの大切さに気づきます。

⑤進路指導

- 大学進学を目指す生徒に対する進学指導を充実させます。
- 進学しない生徒に対しては、就職支援を充実させます。

(3) 一燈園中学校

①一燈園中学校が目指す生徒の姿

- 毎日の食材にも生命があることを理解し、全ての生命に感謝します。
- 自分が一人で生きているのではないことを理解します。
- 他者のために自分ができるところを考え、行動します。

②教育課程

- 国語、数学、英語の3教科に重点を置き、基礎の徹底を図ります。
- 実技教科・体験学習を充実させます。
- 謡曲、日本舞踊、剣道など日本の伝統文化を学び、日本人としての意識を高めます。
- ネイティブによる英会話など外国人との交流の中で、異文化理解教育を推進します。

③作務

- 他者のために奉仕をする活動を通して、自ら汗をかくことの尊さや、互いを尊重して協力することの大切さに気づきます。

④生活指導

- 履き物をそろえることや、椅子をしまうこと、その他清掃活動を通して、後始末をすることの大切さに気づきます。

⑤進路指導

- 一燈園高等学校への進学率を高めます。
- 外部受検を目指す生徒にはそれぞれの能力に応じた進路指導を行います。

(4) 一燈園小学校

①一燈園小学校が目指す生徒の姿

高学年

- 自分が生まれてきたことの不思議さの中から大自然を敬う心を育てます。
- 今日まで育ててくれた両親や家族をはじめ、自分を取り巻く全てに感謝する心を育てます。
- 指示がなくても、家族や先生の手伝いや友達の手助けを率先して行います。

低学年

- 四季の移り変わりの中で、大自然の偉大さを感じる心を育てます。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える心を育てます。
- 家族や先生に手伝いを頼まれたら「はい」と言って行動します。

②教育課程

- 国語、算数に重点を置き、基礎の徹底を図ります。
- 図画工作、家庭科、体育などの実技教科の充実をはかり、達成感を大切にします。
- 日本舞踊、珠算、剣道など日本の伝統文化学習を充実させます。
- ネイティブによる英会話など外国人との交流の中で、異文化理解教育を推進します。

V 令和3年度事業計画

(1) 寄附金の募集

経常的経費に充てる寄付金

一燈園小学校、中学校、高等学校の教育研究に要する経常的経費に充てるために、下記のとおり寄附金を募集する。

①法人からの寄附金（日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金）

募集期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

募集金額 4,000,000円

②個人からの寄附金（特定公益増進法人への寄附金）

募集期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

募集金額 2,000,000円（1口1,000円、3口以上を100世帯）

(2) 施設設備計画

①創立90周年を見据えた整備計画

小・中・高等学校の普通教室空調設備入替え工事の実施

小・中・高等学校トイレ乾式化工事の実施

調理実習室、理科実験室等の特別教室の拡充計画の検討

②いずみ幼稚園満3歳児保育に向けた設備等の整備

満3歳児保育実施に対応した保育室等の整備

(3) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

①感染症マニュアルの見直しを行う

②幼児児童生徒及び教職員の体調管理の徹底

i 毎朝の検温

ii 手洗い・手指消毒の徹底、室内換気の徹底

iii 体調不良時は登校（園）せず、医療機関で受診するよう指導を徹底する

(4) 一貫教育への取り組み

①学習指導要領改訂に伴う教育課程の見直しと、一貫教育計画の策定

②ホームガーデンといずみ幼稚園のこども園的活用に向けた検討

(5) 基礎学力の徹底

①国語力向上

i 書く力、読む力、話す力、聞く力、考える力に重点をおいた指導

ii 音読大会 実施期間 年1回

対象学年 小学校1年～小学校6年

iii たくはつ学校発行 年1回

iv 燈影通信への作文掲載 月1回発行の燈影通信に児童生徒の作文掲載

- ②漢字能力向上
- ③外国語能力向上
- ④繰り返し指導
- ⑤習熟度別指導

(6) 特色ある教育の推進（教育課程特例校としての教育活動を含む）

①天香さん学習

朝課（瞑想）	実施期間	通年 午前8時20分～8時35分
	実施学年	小学校・中学校・高等学校
給 食	実施期間	通年 午後12時25分～午後12時40分
	実施学年	小学校・中学校・高等学校
作務（勤労体験）	実施時間	通年 月曜日、各学期末
	実施学年	高等学校
作 務	実 施 日	通年 火曜日5時限・6時限
	実施学年	中学校
サマーキャンプ	実施期間	7月下旬
	参加学年	小学校
霜月行願	実 施 日	11月下旬
	参加学年	中学校・高等学校
奉仕活動	実 施 日	11月下旬
	参加学年	小学校
〆縄漣作	実施期間	12月
	参加学年	中学校・高等学校
年頭行願	実施期間	1月上旬
	参加学年	高校2年
天香さん学習	実施期間	2月
	参加学年	小学校

②平和学習・人権学習

断 食	実施期間	毎月29日 朝食
	実施学年	高等学校（寮生）
花まつり	実 施 日	4月中旬
	参加学年	ホームガーデン・幼稚園・小学校
人権学習	実施期間	6月中旬
	実施学年	中学校3年
宮崎研修	実施期間	6月中旬
	実施学年	高等学校
平和学習	実施期間	6月下旬
	実施学年	小学校
敬老のつどい	実 施 日	9月上旬

殺生塚供養	参加学年 実 施 日	小学校・中学校 9 月下旬
街頭募金活動	参加学年 実 施 日	幼稚園 1 1 月下旬
医療機関支援	実施学年 実 施 日	小学校 1 1 月下旬
Hand in Hand校支援	参加学年 実 施 日	小学校 1 1 月下旬
クリスマス会	参加学年 実 施 日	小学校 1 2 月中旬
	参加学年	ホームガーデン・幼稚園・小学校
③伝統文化学習		
謡曲・能	対象学年 授業時間	中学校 2 年～高校 3 年 毎週 1 時間
剣 道	対象学年 授業時間	小学校 4 年～中学校 3 年（日舞との選択） 毎週 1 時間
日本舞踊	対象学年 授業時間	小学校 4 年～中学校 3 年（剣道との選択） 毎週 1 時間
五月人形飾り付け	実 施 日 参加学年	5 月 幼稚園
七夕祭り・七夕送り	実 施 日 参加学年	7 月上旬 ホームガーデン・幼稚園・小学校1年～2 年
お月見	実 施 日 参加学年	1 0 月上旬 ホームガーデン・幼稚園
おもちつき	実 施 日 参加学年	1 2 月下旬 幼稚園
伝統産業体験	実 施 日 参加学年	1 月中旬 小学校 4 年～小学校 6 年
豆まき	実 施 日 参加学年	2 月上旬 ホームガーデン・幼稚園・小学校
ひな祭り	実 施 日 参加学年	2 月下旬～3 月 3 日 ホームガーデン・幼稚園
とんど焼き （学用品供養祭）	実 施 日 参加学年	1 月中旬 ホームガーデン・幼稚園・小学校・中学校
④自然体験学習		
よもぎ団子作り	実 施 日 参加学年	4 月下旬 小学校 1 年～2 年
筍ほり（筍ほり）	実 施 日 参加学年	5 月上旬 ホームガーデン・幼稚園・小学校 中学校・高等学校

(土入れ)	実 施 日	1 月下旬～2 月上旬
	参加学年	中学校 1 年～高校 3 年
梅ちぎり(梅ちぎり)	実 施 日	6 月上旬
	参加学年	ホームガーデン・幼稚園・小学校 中学校・高等学校
(ジュース作り)	実 施 日	6 月中旬
	参加学年	小学校・中学校
(剪定)	実 施 日	1 2 月中旬
	参加学年	高等学校
お米作り(田ふみ)	実 施 日	4 月下旬
(田植え)	実 施 日	6 月中旬
(稲刈り)	実 施 日	1 0 月中旬
(脱穀)	実 施 日	1 1 月中旬
	参加学年	幼稚園
立山登山	実 施 日	8 月上旬
	参加学年	小学校 5 年～高等学校 3 年 (有志)
秋まつり	実 施 日	1 1 月下旬
	参加学年	幼稚園
⑤幼稚園・小学校一貫教育の推進		
うきうきランド	実 施 日	年間 3 回
	参加学年	幼稚園年中組～小学校 6 年
⑥子育て支援事業の推進		
未就園児りんご組保育	実施期間	年間 1 9 回
	対 象 者	未就園児とその保護者
未就園児さくらんぼ組保育	実施期間	年間 1 2 回
	対 象 者	未就園児とその保護者
おひさまの森活動		年間 3 回
園庭開放	実施期間	通年毎週水曜日
	対 象 者	在園児・未就園児とその保護者
延長保育(くるみ組)	実 施 日	通年 (午後 6 時まで)
	対象学年	幼稚園 (希望者)
	※長期休業期間のバス送迎の開始	
時間外在校	実 施 日	通年 (午後 6 時まで)
	対象学年	小学校 (希望者)
夏期保育	実施期間	夏期休業期間
	対象学年	幼稚園・小学校 (希望者)
お弁当給食	実施期間	2 学期から
	対象年齢	幼稚園 (希望者)

⑦情操教育

健康作り	実施期間	通年
	参加学年	幼稚園
リズム運動	実施期間	通年
	参加学年	幼稚園
リトミック（洋舞）	実施期間	通年
	参加学年	小学校・中学校 高等学校（女子）
少林寺拳法	実施期間	通年
	参加学年	中学校
	参加学年	高等学校（男子）
珠算	実施期間	通年
	参加学年	小学校2年～小学校6年

⑧科学教育

ロボット教室	実施期間	通年
	参加学年	小学校4年～高校3年（希望者）

（7）国際理解と国際交流の推進

①プロジェクト・トラストからの「ギャップイヤーチューデント」の受入

- i 受入期間
 - a. 令和2年9月～令和3年8月
 - b. 令和3年9月～令和4年8月
- ii 受入研修生
 - a. 2名（新型コロナウイルス感染症のため派遣中止）
 - b. 2名（新型コロナウイルス感染症のため派遣中止）

②英会話

ネイティブ・スピーカーによる英会話の授業を実施する。

小学校	週2時間
中学校	週1時間
高等学校	週1時間

（8）広報・児童生徒募集活動の強化・活性化

広報担当を含め、教職員全員による広報活動の強化。特に山科地区及び高等学校における京都府内生の募集活動強化

（9）地域社会への貢献

①一燈園夏期学校（大愚塾「夏安居」）

全国の中学生・高校生を対象とした夏期スクール

- i 期 間 令和3年7月29日（木）～7月31日（土）
- ii 対 象 全国の中学生・高校生（先着50名）
- iii 講 師 全国私立学校の教員
- iv 内 容 学 習 10講座

作 務 2 講座
講 話 2 講座

②ちびっこ祭り

- i 時 期 令和 3 年 8 月上旬
- ii 対 象 地域の未就学児

③環境美化活動

1 1 月下旬を中心に年に数回、中学校生や少林寺拳法クラブが地域のゴミ拾いなどの清掃活動を実施する

④市民講座の開設（一燈園英会話クラブ）

保護者・地域住民を対象とした英会話講座を開催する。

- i 期 間 第 1 期 5 月～ 7 月（新型コロナウイルス感染症のため中止）
第 2 期 1 0 月～ 1 2 月（新型コロナウイルス感染症のため中止）
第 3 期 1 月～ 3 月（新型コロナウイルス感染症のため中止）
- ii 対 象 学園保護者、地域住民
- iii 講 師 プロジェクトトラストGAP YEAR Students 研修生
- iv 開講クラス 社会人クラス 2 講座
親子クラス 2 講座

⑤燈影ホームガーデン

- i 企業主導型保育事業として燈影学園の事業所内小規模保育「燈影ホームガーデン」において、近隣の提携事業所の従業員の子の保育を行う。
- ii いずみ幼稚園の休園日（土曜日）に、希望がある幼稚園児の保育を行う。

(10)教育内容の検証

①関係者アンケートの実施

保護者、教職員、生徒を対象とした関係者アンケートを実施する。

②学校自己評価の実施

関係者アンケート結果をうけて、学校自己評価を実施する。

(11)働き方改革への対応

①平成 3 1 年 4 月の労働基準法改訂に伴う、労務管理の徹底

令和 3 年度も引き続き、幼稚園から高等学校までは 1 年単位の変形労働時間制を適用し、時間外勤務の抑制に努める。

また、I C カード活用など出退勤時刻の記録の方法について引き続き検討を続ける。

(12)事務の効率化

①ホームガーデンから高等学校までの事務の効率化の検討

ホームガーデン、幼稚園、学校に分かれて行っていた事務作業の効率化のための検討を進める。

VI 令和3年度事業実績報告

令和3年度事業は下記の通り実施された。

(1) 寄附金の募集

① 経常的経費に充てる寄付金

一燈園小学校、中学校、高等学校の教育研究に要する経常的経費に充てるために、下記のとおり寄附金を募集した。

i 日本私立学校振興・共済事業団が実施する受配者指定寄付金

募集期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

寄付金額 850,000円

寄付者数 法人 6社

ii 特定公益増進法人への寄附金

募集期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

寄付金額 1,390,859円

寄付者数 個人 94名

(2) 施設・設備関係

① 創立90周年を見据えた整備計画

i) 小・中・高等学校の普通教室の空調入替え

新型コロナウイルス感染症対策もあわせて、小・中・高等学校の普通教室のうち令和2年度に未実施であった教室のエアコンの入れ替えを行った。

ii) トイレ乾式化工事

国庫補助金対象事業とするため複数社に見積もりを依頼したが、令和3年度の実施は見送り、令和4年度実施に向けて引き続き検討をすすめることとした。

iii) 調理実習室、理科実験室等の拡充計画の検討

② いずみ幼稚園満3歳児保育に向けた設備等の整備

令和3年4月からの満3歳児保育に向けて、保育室の整備を行った。

(3) 基礎学力の徹底

① 国語力向上

i 書く力、読む力、話す力、聞く力、考える力に重点を置いた国語指導を実施した。

ii 音読大会を実施した。

対象学年 小学校1年生～小学校6年生

実施日 12月20日

iii たくはつ学校の発行

児童生徒の作文をまとめ2月に文集として発行した。

iv 京都新聞掲載

小学校児童の作文を京都新聞に送付した

②漢字能力向上

漢字文化の奥深さ、楽しさを学ぶことを重点に置いて漢字学習を実施した。

漢字能力検定 対象学年 中学校 1 年～高校 3 年

実 施 日 (第 1 回) 7 月 1 7 日

(第 2 回) 1 1 月 5 日

(第 3 回) 2 月 4 日

合 格 者	準 2 級	4 名	3 級	4 名
	4 級	6 名	5 級	6 名
	6 級	1 名		

③外国語能力向上

コミュニケーションツールとしての外国語（英語）能力向上を目指した外国語学習を実施した。

英語検定 対象学年 中学校 1 年～高校 3 年

実 施 日 (第 1 回) 1 次 5 月 2 8 日

2 次 6 月 2 7 日

(第 2 回) 1 次 1 0 月 2 日

2 次 1 1 月 7 日

(第 3 回) 1 次 1 月 1 4 日

2 次 2 月 2 0 日

合 格 者	準 2 級	3 名		
	3 級	2 名	4 級	8 名
	5 級	6 名		

④繰り返し指導

かがやきタイム 実施期間 通年 午後 3 時 3 0 分～午後 4 時

対象学年 小学校 1 年～小学校 6 年

内 容 その日の授業内容の繰り返し指導や宿題など、全ての児童が授業内容を理解できるまで、指導を行った。

繰り返し指導 実施期間 通年 放課後

対象学年 中学校 1 年～高校 3 年

内 容 その日の授業内容の繰り返し指導や、苦手教科の抜き出し指導を行い、基礎学力の徹底を図った。

夏期・冬期補習 実施期間 夏期、冬期の休業期間

対象学年 中学校 1 年～高校 3 年

内 容 各学年の学習目標に達していない生徒に対して、学習目標に到達するまで補習を行った。

⑤習熟度別指導

対象学年 小学校 3 年

内 容 児童の能力により、学年の進度で授業を進めることが難しい教科について、抜き出し授業を行った。

対象学年 高校 1 年～高等学校 3 年

対象教科	数学、物理基礎
内 容	学年を基礎学力の徹底を重視するクラスと、進学を目指すクラスの2クラスに再編し、各生徒の能力に応じた学習を行った。

(4) 特色ある教育の推進

①一燈園学習

朝課（瞑想）	実施期間	通年 午前8時20分～8時35分
	実施学年	小学校1年～高校3年
	内 容	新型コロナウイルス感染症対策のため、礼堂での朝課は小学校と中学・高等学校が隔日で実施し、礼堂に行かない日は、各教室で実施した。
給 食	実施期間	通年 午後12時30分～午後12時50分
	実施学年	小学校1年～高校3年
	内 容	新型コロナウイルス感染症対策のため、食堂には行かず、各教室で三匙之偈の放送を聞いて、黙って頂いた。 年度途中からは、学年を分けて総寮食堂で頂く日を設けることができた。
作務（勤労体験）	実施時間	通年 月曜日 1時限目～4時限目
	実施学年	高校1年～高校3年
	受 入 先	燈影学園（ホームガーデンを含む）
	内 容	校内、学校周辺の清掃、幼児児童の保育補助を行う他、学園内の種々の作業を行う。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、のうけん、営繕部、食堂、いらん寮、侍者寮、いずみ幼稚園での作務は実施しなかった。
作 務	実 施 日	通年 火曜日5時限・6時限
	実施学年	中学校1年～中学校3年
	内 容	グランド草抜き、校舎周辺清掃、等
街頭清掃	実施期間	毎月19日 午前6時～6時30分
	実施学年	高校1年～高校3年（寮生）
	内 容	学校周辺の道路や公園の清掃を行う
一燈園春の集い	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	中学校1年～高等学校3年
霜月接心	実 施 日	11月24日～11月30日
	参加学年	小学校1年～高等学校3年
	内 容	礼堂作法、食作法、照顧脚下など、毎日の生活をみつめなおす。

(挨拶運動)	参加学年 内 容	中学校 1 年～中学校 3 年 霜月接心期間中の朝 7 時 3 0 分から 5 5 分まで、 四宮駅前、柳山橋、八角亭前での朝の挨拶声かけ と通学路のゴミ拾い、礼堂での瞑想を行う。
霜月行願	実 施 日 参加学年 行 先 内 容	1 1 月 2 7 日 中学校 1 年～高校 3 年 大阪市（四天王寺・大念仏寺） 四天王寺、大念仏寺の境内を清掃を行った。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、大 阪市（愛隣地区）から行き先を変更した。
奉仕活動	実 施 日 参加学年 行 先 内 容 参加学年 行 先 内 容	1 1 月 2 7 日 小学校 1 年～小学校 4 年 京都市山科区（疏水周辺） 疏水周辺の清掃 小学校 5 年～小学校 6 年 京都市山科区（諸羽神社） 境内の清掃 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、平 安神宮から変更行き先を変更した。
〆縄漣作	実施期間 参加学年 内 容	1 2 月 1 日～1 2 月 2 1 日 中学校 1 年～中学校 3 年、高校 2 名 お正月の注連飾り作成し、近隣の社寺へ届ける
年頭行願		
(事前学習)	実 施 日 参加学年 内 容	1 月 1 1 日 高校 2 年・3 年 行願についての心がまえや長浜の地理・歴史につ いて
(体験学習)	実施期間 参加学年 内 容 行 先	1 月 1 2 日 高校 2 年・3 年 天香さんの生家の清掃、長浜市内の企業の清掃 滋賀県長浜市
天香さん学習		
(事前学習)	実施期間 参加学年 内 容 参加学年 内 容 参加学年 内 容	2 月 2 1 日～2 8 日 小学校 1 年～小学校 2 年 「天国・地獄」を鑑賞して、作文にまとめる。 小学校 3 年～小学校 4 年 路頭を体験して、作文にまとめる。 小学校 5 年～小学校 6 年 年間を通して路頭を行い、文章にまとめる。
(発表会)	実施期間	3 月 1 0 日

	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	事前学習でまとめたことを、発表する。
②平和学習・人権学習		
断 食	実施期間	毎月 2 9 日 朝食
	実施学年	高校 1 年～ 3 年（寮生）
	内 容	朝食を断ち、その食費（3 6 0 円）を世界の難民救済や災害被災者救済に役立てる。
平和学習		
（事前学習）	実 施 日	通年
	参加学年	小学校 6 年
	内 容	社会や道德の時間を通して平和について学ぶ
（学習旅行）	実施期間	7 月 8 日～ 7 月 9 日
	実施学年	小学校 6 年
	行 先	京都府（舞鶴市・南丹市）
	内 容	新型コロナウイルス感染症対策のため、広島市・原爆記念館から行き先を変更し、舞鶴市・引揚げ記念館を見学し、きのこの森、エルどらんどなどに行った。
（研究発表）	実 施 日	3 月 1 0 日
	内 容	1 年間の平和学習のまとめをパワーポイントを使って発表する準備をした。
人権学習		
（事前学習）	実施期間	隔週木曜日 1 1 : 3 5 ～ 1 2 : 2 5
	実施学年	中学校 3 年
	内 容	ハンセン病に関する教室学習
（学習旅行）	実施期間	1 0 月 2 8 日～ 1 0 月 2 9 日
	実施学年	中学校 3 年
	行 先	岡山県（備前市）
	内 容	ハンセン病療養所長島愛生園歴史観の見学をして学芸員の方からお話を伺い、ハンセン病の歴史について学んだ。
（研究発表）	実 施 日	7 月 3 0 日
	内 容	ハンセン病についてのまとめをパワーポイントを使って発表した
花まつり		
	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組
（自然の集い花）	実 施 日	4 月 1 5 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	花みこしを作り、誕生仏に甘茶をかける。お釈迦様の生涯と教えを通して慈悲について学ぶ

聖徳太子祭	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	小学校 1 年～中学校 3 年
おおやけの里訪問	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	小学校 1 年～小学校 2 年
敬老のつどい	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	小学校 1 年～中学校 3 年
	内 容	児童生徒の祖父母や近隣のお年寄りにプレゼントを作成して贈った。
殺生塚供養	実 施 日	9 月 1 8 日
	参加学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組
	内 容	飼育していた動物の供養をし、生と死に触れる。
維摩祭	実 施 日	新型コロナウイルス感染症のため中止
	参加学年	中学校 1 年～高等学校 3 年
街頭募金活動		
（事前学習）	実 施 日	1 1 月 2 5 日
	実施学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	内 容	6 年生が新型コロナウイルス感染症に携わっている医療従事者の方とハンドインハンド校について調べ、募金の目的について 1 年生から 5 年生までに説明をした
（募金活動）	実 施 日	1 1 月 2 6 日
	実施学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	行 先	山科駅前
	内 容	新型コロナウイルス感染症に関わっている医療関係者支援とイスラエルにあるユダヤとアラブの子どもたちのためのハンドインハンド校支援に役立てるため、街頭募金を実施した。
	募金額	医療関係者支援（洛和会音羽病院）
		5 6, 0 0 0 円
		ハンドインハンド校 5 0, 0 0 0 円
障害者スポーツ交流会		
	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	中学校 1 年～高等学校 3 年
クリスマス会	実 施 日	1 2 月 9 日
	参加学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組
（自然の集い星）	実 施 日	1 2 月 1 6 日
	参加学年	小学校 1 年～小学校 6 年
	実 施 日	1 2 月 2 0 日
	参加学年	ホームガーデン
	内 容	キリストの生涯と教えを通して、他者への愛につ

いて学ぶ。

③伝統文化学習

謡曲・能

対象学年 中学校2年～高校3年
授業時間 隔週金曜日 9：35～10：20
発表 11月20日

『紅葉狩り』

指導 分林道治、梅田嘉宏（観世流能楽師シテ方）
左鴻泰弘（能楽森田流笛方）
井上敬介（能楽師観世流太鼓方）
前シテ 女 丸山さくら
前ツレ 女 植苗真一、塩田和波
後シテ 鬼 尾添瞳
ワキ 平維茂 山本真聡
笛 山本楓、渡辺永遠
太鼓 柳瀬仁実、山崎文暉
地謡 中高生

剣 道

対象学年 小学校4年～中学校3年
授業時間 毎週水曜日 13：05～13：50（中学校）
14：15～15：05（小学校）

発表 3月9日（オンライン授業参観）

日本舞踊

対象学年 小学校4年～中学校3年
授業時間 毎週水曜日 13：05～13：50（中学校）
14：15～15：05（小学校）
発表 3月2日（オンライン授業参観・中学校のみ）

指導 花柳円志訓
1、京の四季 中学校1年女子
2、助六 中学校2年男子
3、藤娘 中学校2年女子
4、汐汲 中学校3年女子

3月9日 13：05～13：50（小学校）

指導 花柳円志訓
1、菊づくし 小学校4年女子
2、羽根の禿 小学校5年女子
3、手習子 小学校6年女子

狂言

対象学年 小学校6年

授業時間 10月～11月

七夕祭り

実施日 7月 7日

参加学年 幼稚園年少組～年長組・小学校1年～小学校6年
ホームガーデン

七夕送り

実施日 7月 8日

参加学年 幼稚園年少組～幼稚園年長組

お月見	内 容	七夕まつりを通して日本の伝統文化を学ぶ
	実 施 日	9月21日
	参加学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組 ホームガーデン
おもちつき	内 容	日本の伝統文化と四季の移ろいを学ぶ
	実 施 日	12月16日
	参加学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組
とんど焼き (学用品供養祭)	内 容	10月に収穫した玄米でお餅をつき、食べる。
	実 施 日	1月14日
	参加学年	ホームガーデン～中学校3年
伝統産業体験	内 容	校庭に全員が集合してお正月飾りや書き初めを燃やし、中学生が獅子舞に扮して無病息災を祈る
	実 施 日	12月4日
	参加学年	小学校4年～小学校6年
豆まき	内 容	金箔貼りを体験した
	実 施 日	2月3日
	参加学年	ホームガーデン 幼稚園年少組～幼稚園年長組 小学校1年～小学校6年
ひなまつり	内 容	節分について話を聞いた後、豆まきを行う
	実 施 日	3月3日
	参加学年	幼稚園年少組～年長組
④自然体験学習		内 容 ひな祭りを通して日本の伝統文化に触れる
よもぎ団子作り	実 施 日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	参加学年	小学校1年～小学校2年
苺狩り	実 施 日	新型コロナウイルス感染症のため中止
	参加学年	幼稚園年長組
筍ほり(筍ほり) (土入れ)	実 施 日	5月6日
	参加学年	小学校1年～小学校6年
	実 施 日	1月下旬～3月上旬(計10回)
梅ちぎり(梅ちぎり) (剪定)	参加学年	中学校1年生～中学校3年生
	内 容	竹林の保全作業を通して、生命のたくましさに触れる。
	実 施 日	6月上旬～中旬
	参加学年	ホームガーデン～中学校3年生
	内 容	高校生が剪定した梅の実を収穫し、ジュースにすることで、大自然の恵みに感謝する。
	実 施 日	1月中旬(合計3回)
	参加学年	高校1年生～高校3年生

お芋掘り	内 容	梅林の梅の枝を剪定する。
	実 施 日	10月15日
	参加学年	幼稚園年少・年中組
ブルーメの丘	実 施 日	10月8日
	参加学年	幼稚園年長組
	実 施 日	3月17日
	参加学年	中学校1年生～高等学校3年生
	内 容	スキー教室が新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止したため、代替行事として、滋賀県農業公園ブルーメの丘で遠足を行った。

⑤幼稚園・小学校一貫教育の推進

うきうきランド 新型コロナウイルス感染症のため中止

⑥子育て支援事業の推進

りんご組保育	実 施 日	年間15回
	対 象 者	未就園児とその保護者
さくらんぼ組保育	実 施 日	A 年間15回 B 年間13回
	対 象 者	未就園児とその保護者
おひさまの森活動	実 施 日	スクールカウンセラーのお話 5月27日 運動遊び 7月 9日 手芸 10月15日
		※新型コロナウイルス感染症対策のため縮小
	対 象 者	未就園児とその保護者
	実 施 日	毎週水曜日午前10時～正午
園庭開放	対 象 者	未就園児・在園児とその保護者
	実 施 日	9月1日～
給食弁当	対 象 者	幼稚園年少組～年長組の希望者
	内 容	保護者が就業などの事情により弁当持参が難しい世帯で保護者が希望する園児への給食弁当
延長保育	実 施 日	通年 終園～午後6時
	対象学年	幼稚園年少組～年長組（希望者）
	内 容	保護者が就業などの事情により降園後も希望する幼児を、保育する
時間外在校	実 施 日	通年 終礼～午後6時
	対象学年	小学校1年～小学校6年（希望者）
	内 容	近所に年齢の近いお友達がいらないなどの理由で、下校後も在校を希望する児童を保育する
夏期保育	実 施 日	夏期休業期間
	対象学年	幼稚園年少組～幼稚園年長組（希望者）
サマースクール	実施期間	夏期休業期間

対象学年 小学校 1 年～小学校 6 年（希望者）
 内 容 近所に年齢の近いお友達がいらないなどの理由で、
 夏期休業中も在校を希望する児童を対象に、午前
 中は掃除や宿題、午後はプール遊びを行う
 ※令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症対策の
 ため、保護者の就業などの事情がある児童を原則
 とした。

⑦情操教育

健康作り

参加学年 幼稚園年少組～幼稚園年長組

実施期間 通年

内 容 1 年を通して半袖、半ズボン、素足で過ごす

リズム運動

参加学年 幼稚園年少組～幼稚園年長組

実施期間 通年

内 容 健康な体づくりを目指してリズム運動をする。

リトミック

参加学年 小学校 1 年～小学校 6 年

授業時間 毎週木曜日 11:40～12:25

内 容 タンバリンに合わせてリズム運動をする

洋 舞

参加学年 中学校 1 年～高校 3 年（女子）

授業時間 毎週木曜日 13:15～14:05

内 容 リズム運動を基礎として、モダンバレエの基本を
 通して表現力を養う

発 表 11 月 11 日 13:15～14:05

授業参観として「Rising」を発表

珠算・暗算

参加学年 小学校 2 年～小学校 6 年

授業時間 毎週火曜日 10:50～11:35（小 2～4）

11:40～12:25（小 5～6）

内 容 右脳と左脳を刺激することで脳の発達を促し、集
 中力を養う

検 定 日 第 1 回（4 級以下） 7 月 2 日

（3 级以上） 7 月 4 日

第 2 回（4 級以下） 10 月 22 日

（3 级以上） 10 月 24 日

第 3 回（伝票算） 12 月 16 日

第 4 回（3 级以上） 2 月 13 日

合 格 者	珠算	準 1 級	1 名	2 級	3 名
		準 2 級	2 名	3 級	5 名
		4 級	3 名	5 級	6 名
		6 級	6 名	7 級	2 名
		8 級	6 名	9.10 級	8 名
	暗算	4 級	4 名	5 級	6 名

	6 級	7 名	7 級	6 名
	9 級	1 名	1 0 級	1 名
伝票算	準 2 段	1 名	初 段	1 名
	2 級	3 名	3 級	6 名
伝票暗算	4 段	1 名	3 級	3 名
	4 級	5 名	5 級	4 名

⑧安全教育

防火教室

参加学年 幼稚園年少組～年長組

実 施 日 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

避難訓練

参加学年 ホームガーデン、幼稚園年少組～幼稚園年長組

実 施 日 毎月 1 回

参加学年 小学校 1 年生～高校 3 年生

実 施 日 9 月 1 4 日

内 容 火災が起きたときの退避行動等の訓練を行った

実 施 日 3 月 1 1 日

内 容 京都市シェイクアウト訓練にあわせた地震が起きたときの退避行動等の訓練を行った

安全教室

参加学年 小学校 1 年～小学校 6 年

実施期間 7 月 2 1 日、1 2 月 2 2 日、3 月 2 3 日

内 容 交通ルールや、不審者対策など安全な登下校のための注意点を考える

交通安全教室

参加学年 小学校 1 年～6 年

実施期間 5 月 2 4 日、5 月 2 8 日

内 容 山科警察書の指導員による自転車の安全な乗り方の講習

参加学年 中学校 1 年～3 年

実施期間 7 月 1 0 日

内 容 自転車の安全な乗り方を学ぶ

スマホ教室

参加学年 中学校 1 年～高等学校 3 年

実 施 日 7 月 1 5 日

内 容 N T T ドコモのインストラクターによるスマホの危険性についての講習

薬物乱用防止教室

参加学年 小学校 5 年～小学校 6 年

実 施 日 1 2 月 1 4 日

参加学年 中学校 1 年～高等学校 3 年

実施期間 7 月 1 9 日

内 容 薬物依存についての講演

⑨キャリア教育

大学見学会

参加学年 高等学校 1 年生～3 年生

実 施 日 7 月 1 6 日

文理選択ワーク	行 き 先	京都産業大学
	参加学年	高等学校 1 年生
	実 施 日	1 0 月 1 4 日
	内 容	ライセンス・アカデミーによる講演
インターンシップ	参加学年	高等学校 1 年生～ 3 年生
	実 施 日	1 2 月 1 5 日～ 1 2 月 1 7 日
	行 き 先	パーフェクトポーションジャパン株式会社
志望理由書の書き方講座		
	参加学年	高等学校 2 年生
	実 施 日	2 月 2 4 日
	内 容	ベネッセ・コーポレーションによる講演

(5) 国際理解と国際交流の推進

①プロジェクト・トラストから「ギャップイヤースチューデント」の受入

英国のボランティア団体「プロジェクト・トラスト」が派遣する G A P スチューデントを受け入れについては、新型コロナウイルス感染症拡大により、英国の「プロジェクト・トラスト」本部により令和 2 年 9 月からの派遣は見送られた。

②英会話

英語教諭を中心とした英会話の授業を実施した。

小学校	週 1 時間
中学校	週 1 時間
高等学校	週 1 時間

(6) 広報・幼児児童生徒募集活動の強化・活性化

①地下鉄山科駅構内に広告を掲示

看板広告を作成し、地下鉄山科駅構内に掲示

②近隣市町村の学習塾・進学塾へ学校案内を送付

③塾対象学校説明会

④幼稚園ホームページの充実・Instagramの開設

⑤保育園・幼稚園に配布されるフリーペーパーに小学校の広告を掲載

⑥山科・大津地区に配布される情報誌に幼稚園のチラシ折り込み

⑦ホームガーデンホームページ開設

⑧子育て支援誌「おふいすパワーアップ」掲載

企業主導型保育事業特集ページへのホームガーデン広告記事掲載

満 3 歳児保育特集ページにいずみ幼稚園の記事掲載

(7) 地域社会への貢献

①市民講座の開設（一燈園英会話クラブ）

新型コロナウイルス感染症拡大をうけてギャップイヤースチューデントが派遣され

なかったため、実施しなかった。

②一燈園夏期学校（大愚塾「夏安居」）

全国の中学生・高校生を対象とした夏期スクールを実施した。

i 期 間 令和3年7月29日（木）～7月31日（土）

③環境美化活動

廃品整理

i 期 間 通年（年間約10回）

ii 学 年 高校1年～高校3年

iii 内 容 地域の空き缶や空き瓶を回収・分別した

（8）天香奨学金

①クラブ奨学生 該当者なし

②新型コロナウイルス感染症緊急援助

緊急事態宣言による休業等により収入の減少した世帯を対象に緊急援助を行った。

対 象 者	一燈園高等学校	1名
	一燈園中学校	4名
	一燈園小学校	4名
	計	9名（5世帯）

支 給 額 730,000円

（9）教師力向上

①校内研修の実施

小学校において教員のICT指導力向上のため、校内研究を実施した。

（10）進路実績

令和3年度卒業生の進路は次のとおりであった。

一燈園高等学校卒業生徒	6名	京都精華大学	1名
		京都美術工芸大学	1名
		追手門学院大学	1名
		池坊短期大学	2名
一燈園中学校卒業生徒	8名	一燈園高等学校	3名
		国立高等専門学校	1名
		公立高等学校	0名
		私立高等学校	1名
		通信制高等学校	3名
一燈園小学校卒業児童	11名	一燈園中学校	9名
		公立中学校	0名
		私立中学校	2名

(11) 経済的な事情のある児童生徒への支援

令和３年度、つぎのとおり授業料減免を実施した。

一燈園高等学校

授業料減免対象生徒	12名（1,407,600円）
京都府あんしん修学支援事業対象生徒	5名（1,172,400円）
その他の経済的事由による授業料減免生徒	1名（42,600円）
兄弟姉妹在籍による授業料減免生徒	6名（192,600円）

一燈園中学校

授業料減免対象生徒	16名（3,157,800円）
京都府あんしん修学支援事業対象生徒	8名（2,592,000円）
その他の経済的事由による授業料減免生徒	2名（343,200円）
兄弟姉妹在籍による授業料減免生徒	6名（222,600円）

一燈園小学校

授業料減免対象児童	42名（5,461,800円）
京都府あんしん修学支援事業対象児童	24名（4,530,000円）
その他の経済的事由による授業料減免児童	9名（695,400円）
兄弟姉妹在籍による授業料減免児童	9名（236,400円）

(12) 働き方改革への対応

①平成３１年４月の労働基準法改訂に伴う、労務管理の徹底

令和２年４月より、従来の小学校・中学校・高等学校に加えて幼稚園も１年単位の変形労働時間制を適用し、学期中や行事前は一日の勤務時間を８時間を超える日を設定する一方で、春期、夏期、冬期の長期休業期間中や土曜日など生徒等が登校しない期間については、一日の勤務時間を６時間程度に短縮した。

また、客観的な方法による勤務時間の記録の義務づけに伴い、タイムカードを導入し、校長・園長の指導のもと、１年の時間外勤務が３２０時間を超えないよう教職員にも意識づけを行った。

VII 学校評価結果

(1) 自己評価結果

令和3年3月校長を中心に自己評価を実施した。

○…できている、×…できていない、△…どちらともいえない

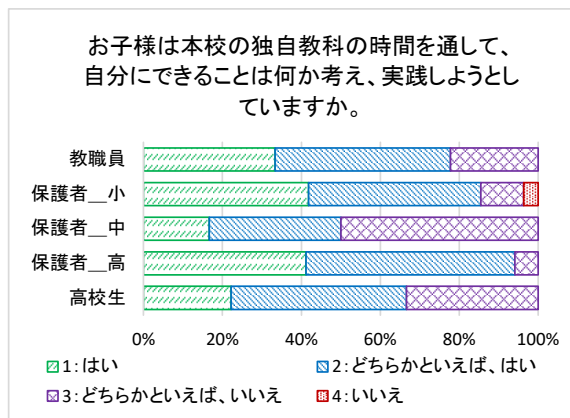
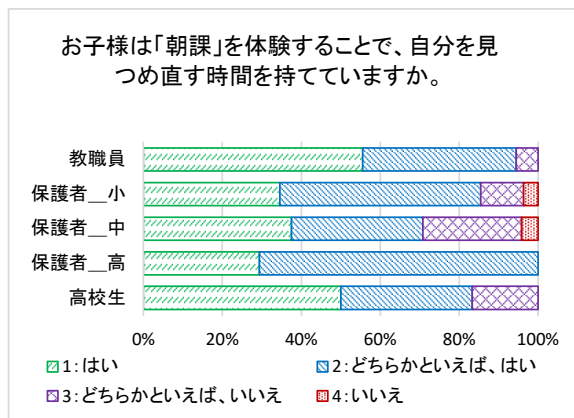
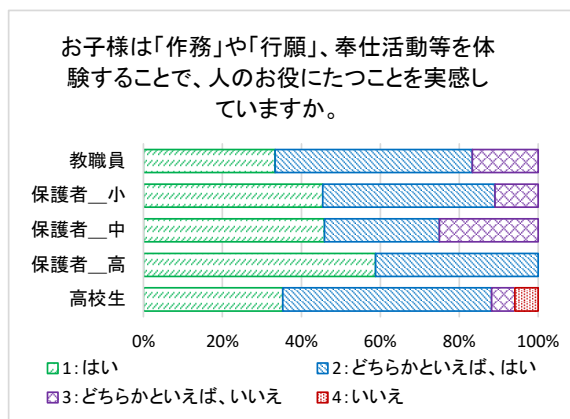
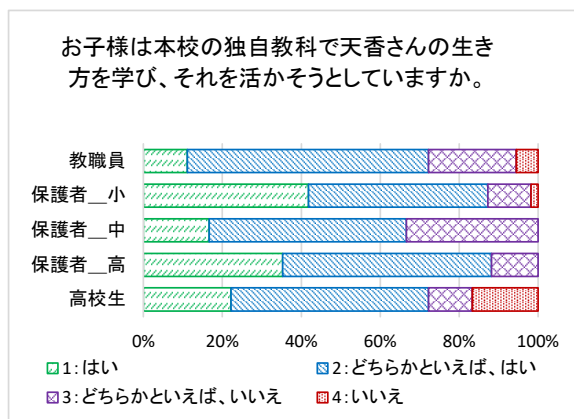
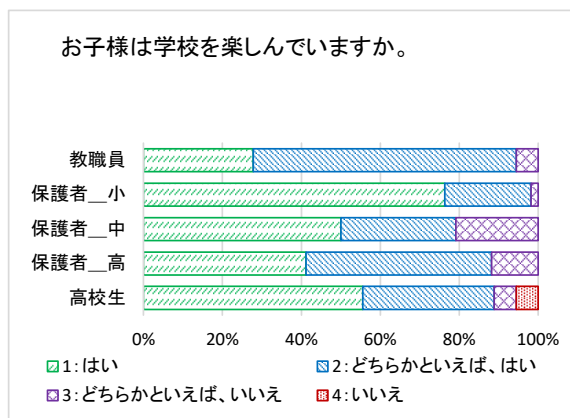
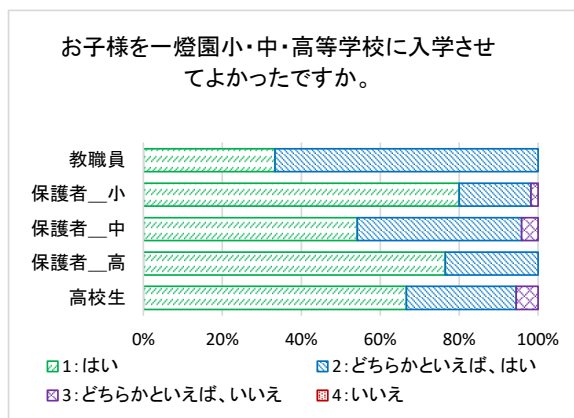
	項 目	評価	改善を要する点
教育理念・目標	建学の精神・教育理念を学校内外へ提示している	○	
	教育目的を学校内外へ提示している	○	
	教育方針を学校内外へ提示している	○	
生徒募集・入学者選抜	アドミッションポリシー（学校が受験生に求めている能力・適正等）を明確に提示している	△	本校は学力選抜に価値観選抜を加味しているため、明確さに欠けるが、これは重要なポイントであると受け止めている
	アドミッションポリシーを適正に運用している	△	
カリキュラム	カリキュラムは教育方針に基づいて編成されている	○	
	教育の方法（内容）には教育方針が反映されている	○	
各教科の授業内容・成績評価等	児童生徒（保護者）に各教科の授業の進め方を説明している	△	シラバスの作成・配布の徹底については、改善されたが充分ではない
	実験・実習等を活用し、生徒等が体験する機会を積極的につくっている	○	
	コンピュータ教育を積極的に実施している	△	I T教育はI S教育とあわせて行う
	各教科の成績評価の基準を生徒（保護者）に説明している	○	
指導方法等の工夫等	国語・数学（算数）・英語の基礎を徹底して学習している	△	基礎学習の重要性を認識し、効果を更に向上させたい
	教員は積極的に研修に取り組み、スキルアップに励んでいる	△	学校行事その他に時間と意識が奪われやすいが徐々に改善されている
	学校は教員のスキルアップを支援している	△	更に外部研究会への参加を促したい
卒業生	卒業生の進学指導	○	
	卒業生の就職支援	○	
教員の状況	教育目的達成のために必要な教職員を配置している	△	教員の絶対数の不足がある
	教職員の採用・昇進の方針が明確に提示されている	△	
	教職員の採用・昇進の方針は適正に運用されている	△	
施設設備	教育目的達成のために必要な施設・設備が整備・維持されている	△	改善にむけた努力をしているが充分とはいえない
	施設設備の安全性は確保されている	△	留意し、改善にむけた努力は行っているが充分とはいえない
	適正な教育研究環境が整備されている	△	
その他	地域社会との協力関係が構築されている	△	改善の結果、徐々にではあるが進展が見られる
	学校安全計画、学校防災計画等の危機管理体制が整備されている	△	
	公正かつ適正な広報活動体制を整備している	△	
管理運営	教育目的達成のための管理運営体制が整備されている	△	職員数に限界がある
	管理部門と教務・学務部門は適切に連携している	○	
	自己点検・評価結果が運営に反映されている	△	努力しているが、充分とはいえない
財務	学校の教育目的達成のための財政基盤は確保されている	△	教育内容の充実と共に児童生徒数の増加を目指している
	収支バランスを考慮した運営及び適正な会計処理を行っている	△	収支バランスについては最大限の努力をしている
	財務情報を適正に公表している	○	
	外部資金導入のために努力している	○	

(2) 学校関係者評価結果

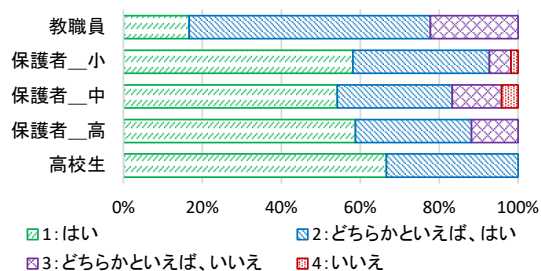
令和4年1月に、小学校・中学校・高等学校の保護者、教職員、高等学校生徒を対象に学校関係者アンケートを実施した。

保護者のアンケートをWEBで行ったためか回答率が高く、全体の回答率が84%と、信頼性の高い結果を得ることができた。

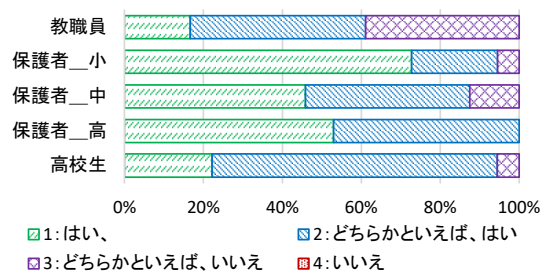
ただし、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため保護者参観の中止等の影響はあったと思われる。



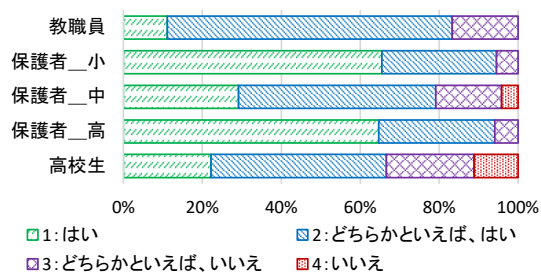
お子様は情報モラルをもってICT機器を使っていますか。



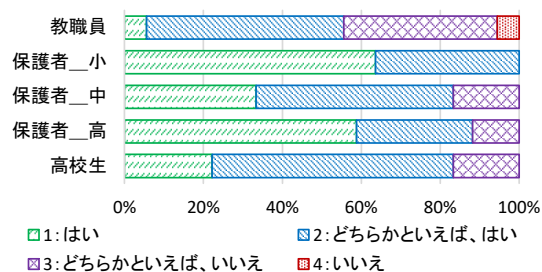
学校は、児童生徒の主体性を大切にしていますか。



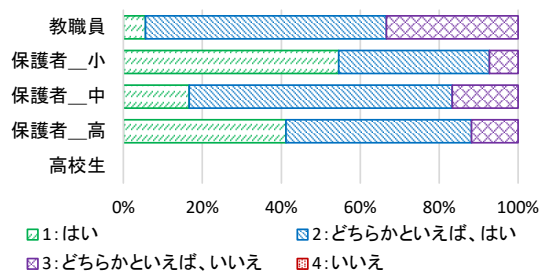
学校は、児童生徒一人ひとりを伸ばす教育活動を実践していますか。



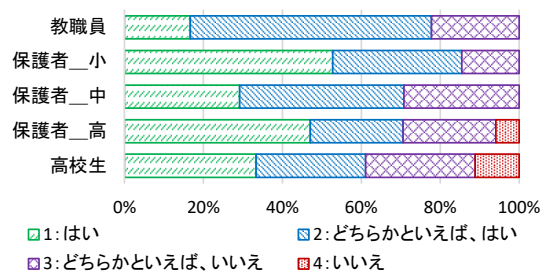
学校は、児童生徒の実態を踏まえ、校風や伝統を活かした学校づくりをしていますか。



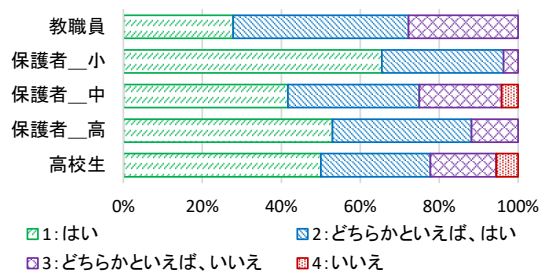
学校は家庭の意見を教育活動に反映させていますか。



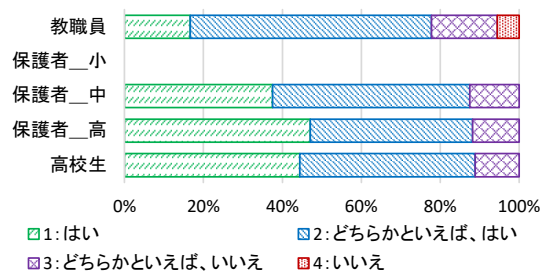
学校は、保護者に必要な情報を過不足なく提供していますか。



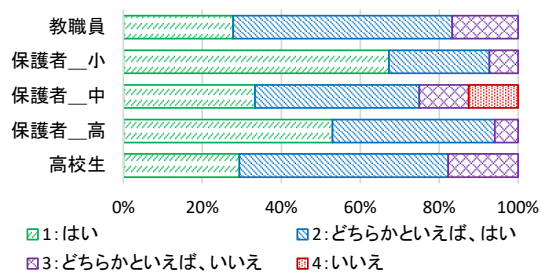
学校は、学習の基礎・基本を定着させていますか。



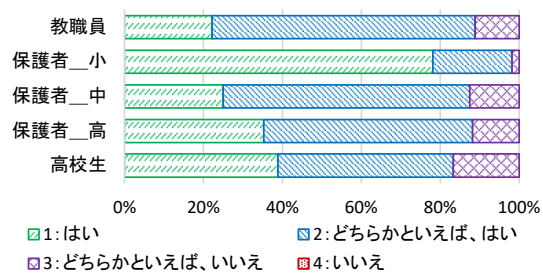
学校は、生徒会活動・部活動などの課外活動の活性化に努めていますか。



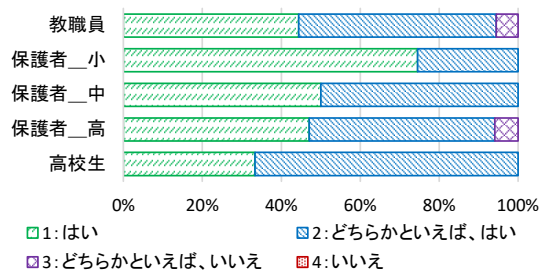
学校は問題行動等の指導をきちんとしていますか。



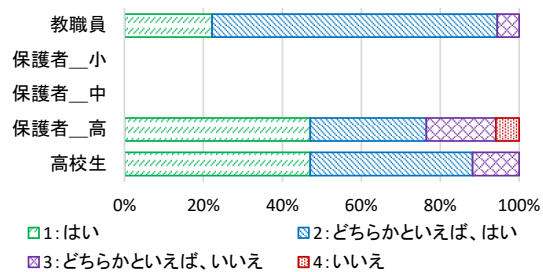
教員は、児童生徒にわかりやすい授業をする工夫をしていますか。



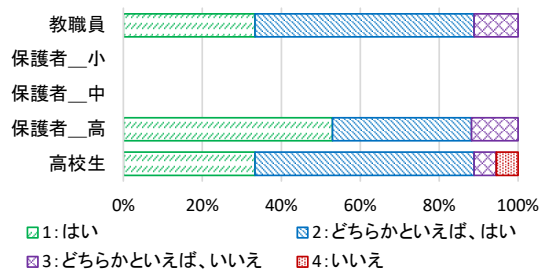
教員は、相談に誠実に対応してくれますか。



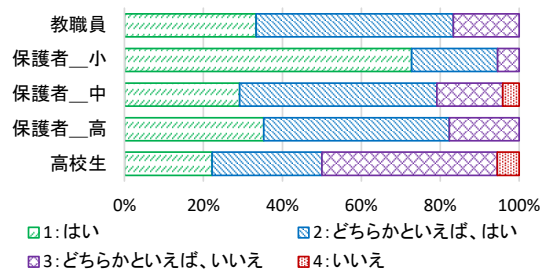
学校は、進路や将来の仕事に関する情報を適切に提供していますか。

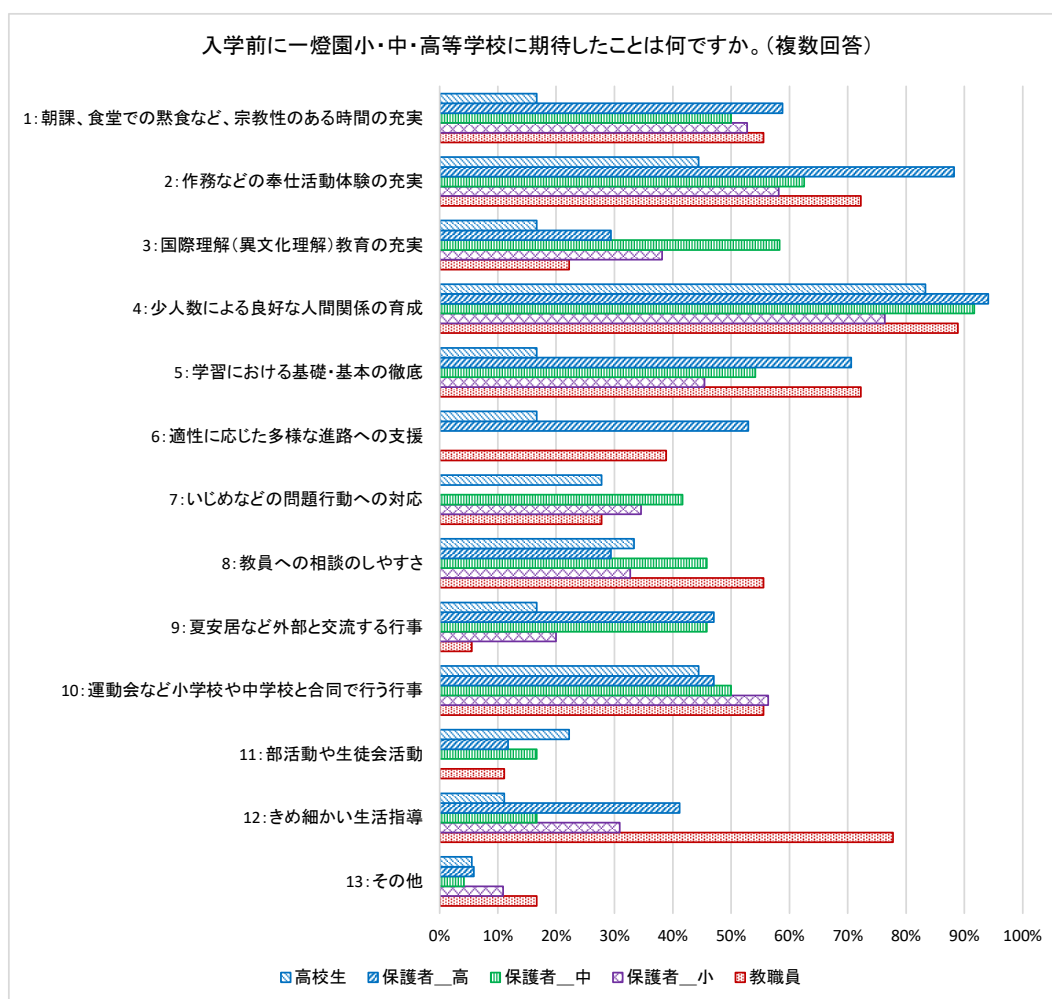


学校は進路に応じた学習支援をしていますか。



教員は、児童生徒の心の健康について適切な対応をとっていますか。





その他（自由記述）※類似のご意見はまとめさせていただいております。

○精神的自立

○それぞれの成長を温かく見守り、促す(本人にとってそう思える)教職員の関わり

○先生方の人間性の豊かさ

○公立にないきめ細かい能力向上の促進

○小中高一貫の長い人間関係の育成

○校内で調理された昼食の提供

○自然豊かな環境があること。探求心を育てていくこと。自ら問いを立て、その問いに対し、考えていくこと。本人が「学校に通いたい」と思える気持ちをもって、毎日学校に通うこと。関係性の深い仲間関係を作ること。公共心を育成すること。社会貢献の思考を育成すること。学習権の保障。一燈園を選び、通わせている保護者の方々との交流をすること。ICTに偏重しすぎない学校教育実践。よりよい学校教育。

○自然環境から受ける影響

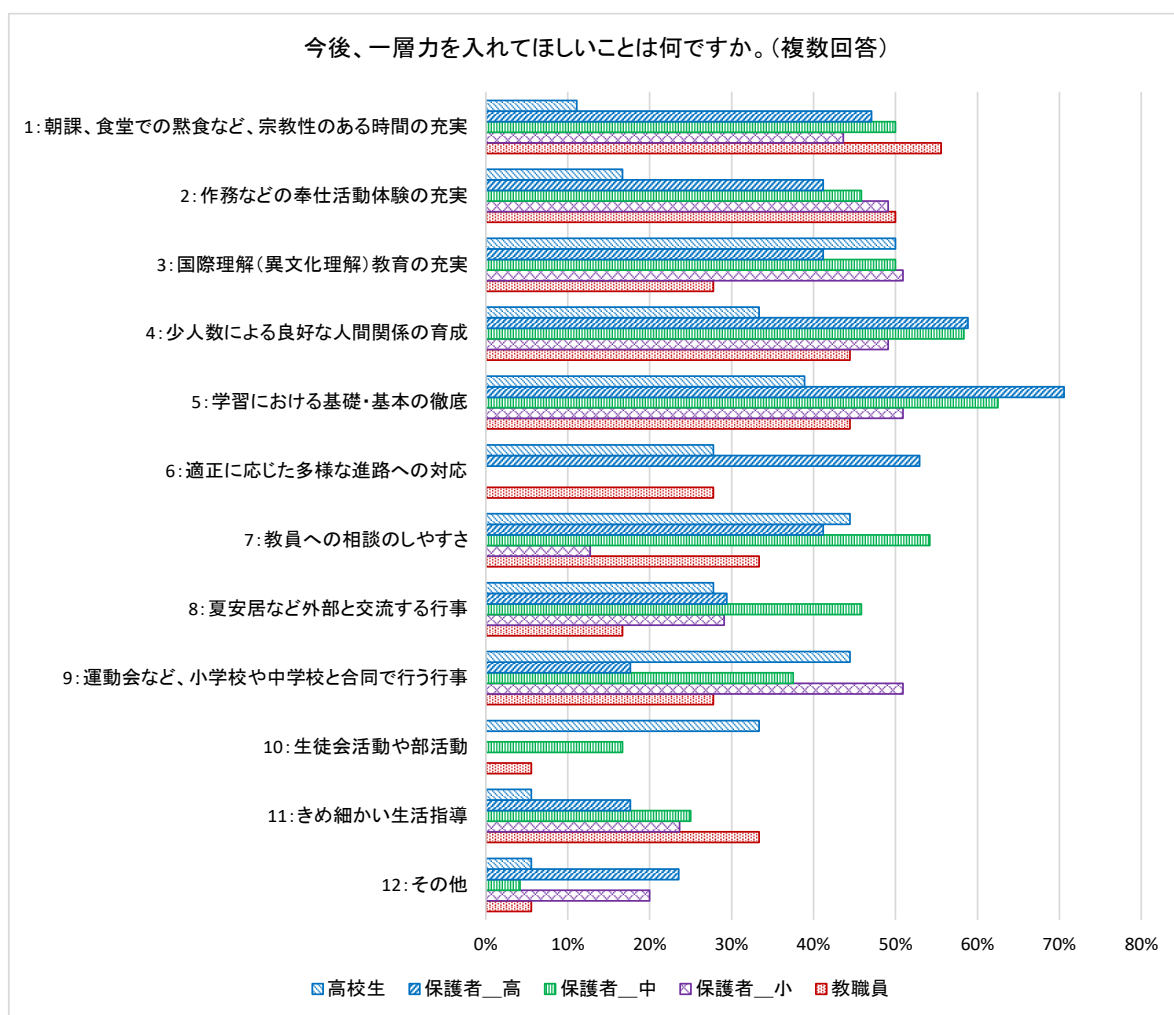
○落ち着いた雰囲気 子どもの個性を尊重してくれる

○課題を持った子どもの「支援学校ではない普通学級への通学」

○併設校からの入学の場合入学前に在籍していた校種と同様の関わり方

○一人一人への個別の対応

○更生（心に傷を負ったり前の学校で失敗したりした児童・生徒が立ち直って「元の状態」に戻ることに



その他（自由記述）※類似のご意見はまとめさせていただいております。

○進路指導時のきめ細やかな対応がほしかった。多くの先生と話し合う中で決定できる環境作り。

○今で十分です

○他校との交流があれば楽しいかも、と言っています

○教職員個人の資質により、児童生徒は大きく影響を受ける。入学初年度は特に注意深く目を配り、必要であれば早期フォローをしてほしい。

○教員の力量差が激しい。特に管理職に対し、研修の必要性を日々痛感する。

○フィンランドやイスラエルなどの先進的な教育指導

○コロナ禍でも、子どもたちの学ぶ機会を減らさないでほしいです。ギャップイヤーシュエudentさんが来なくなり、非常に残念に感じています。ただ止めるのではなく、何か代替りの機会を作ってほしいです。

○バディ制度をそろそろ復活してほしいです。他年齢の子たちの触れ合いは、一燈園の大事な良さの一つでした。

○土曜日は毎週お休みでもいいと思いますが、カリキュラム上難しいのでしょうか。疲れが溜まっているようです。

○学校用の給食室を新たに作って、美味しく安全な給食を提供してほしいです（今ある給食室は色々と問題があると聞きました）。業者さんが安全なのは理解しましたが、味が美味しくないとは毎日言っています。

○他にはない、自然が豊かな環境なので、それを活かした活動をもっとたくさんしてもらえたら嬉しいです。

○以前のように一人一人の個性を活かせる機会をもっと増やしてほしい。

○元気に楽しく学校に通えるように。

○宿題の大切さを子供が理解できるように。

○十分に教育を行ってくださっています。家族全員感謝しております。

○周りから見たら気になる行動の多い子をあたたかく見てくださる先生に出会えて感謝しています。これからも、子どもたちの自己肯定感を守ってもらえと嬉しいです。

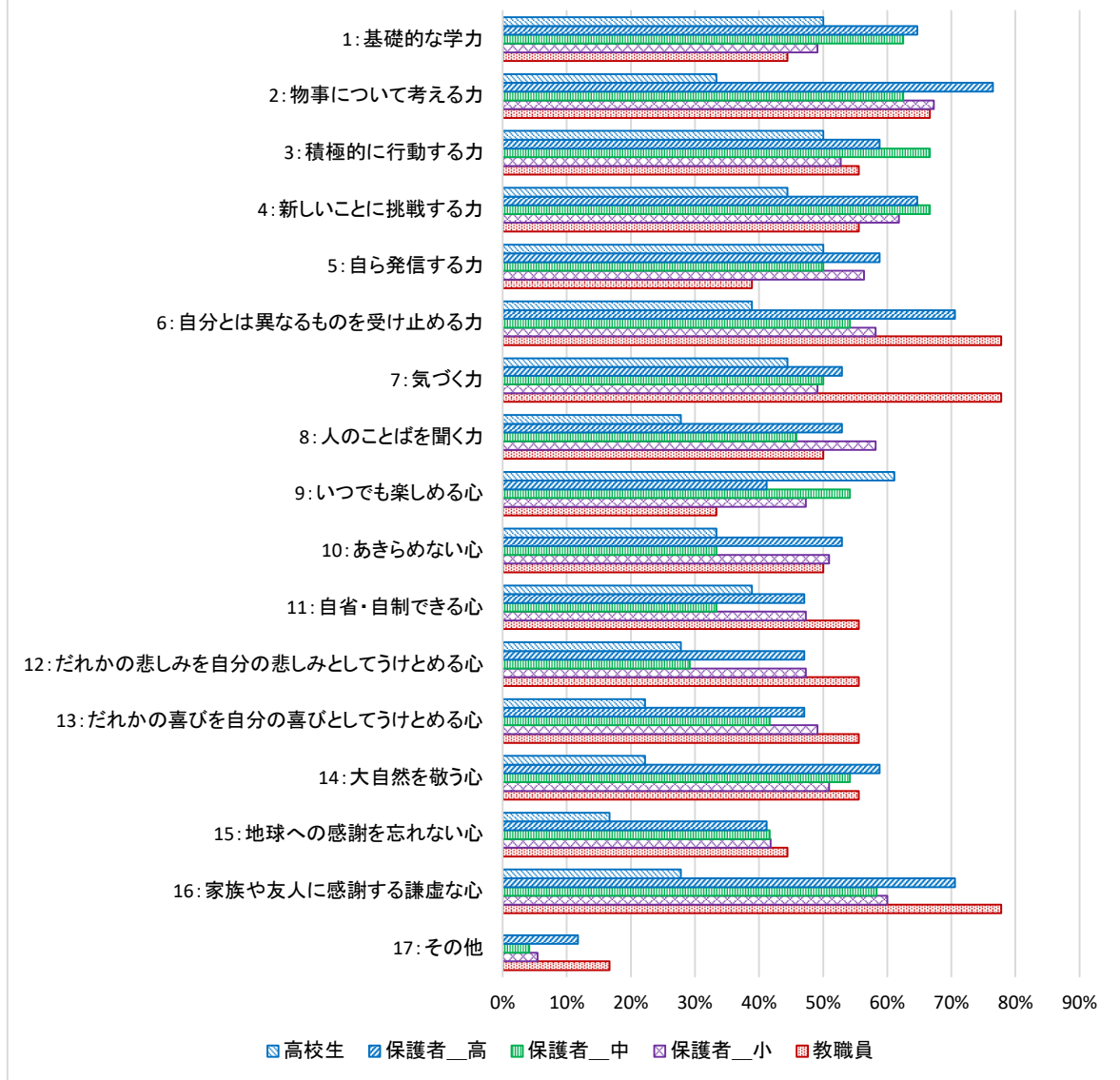
○思考力をつける体系的な独自の学習。

○専任の司書教諭による、読書教育に力を入れて欲しいです。

○食堂での給食再開についての現状報告が少なく、問題点と取り組み状況につき逐次説明して頂きたい。特にコロナ以外の問題につき。

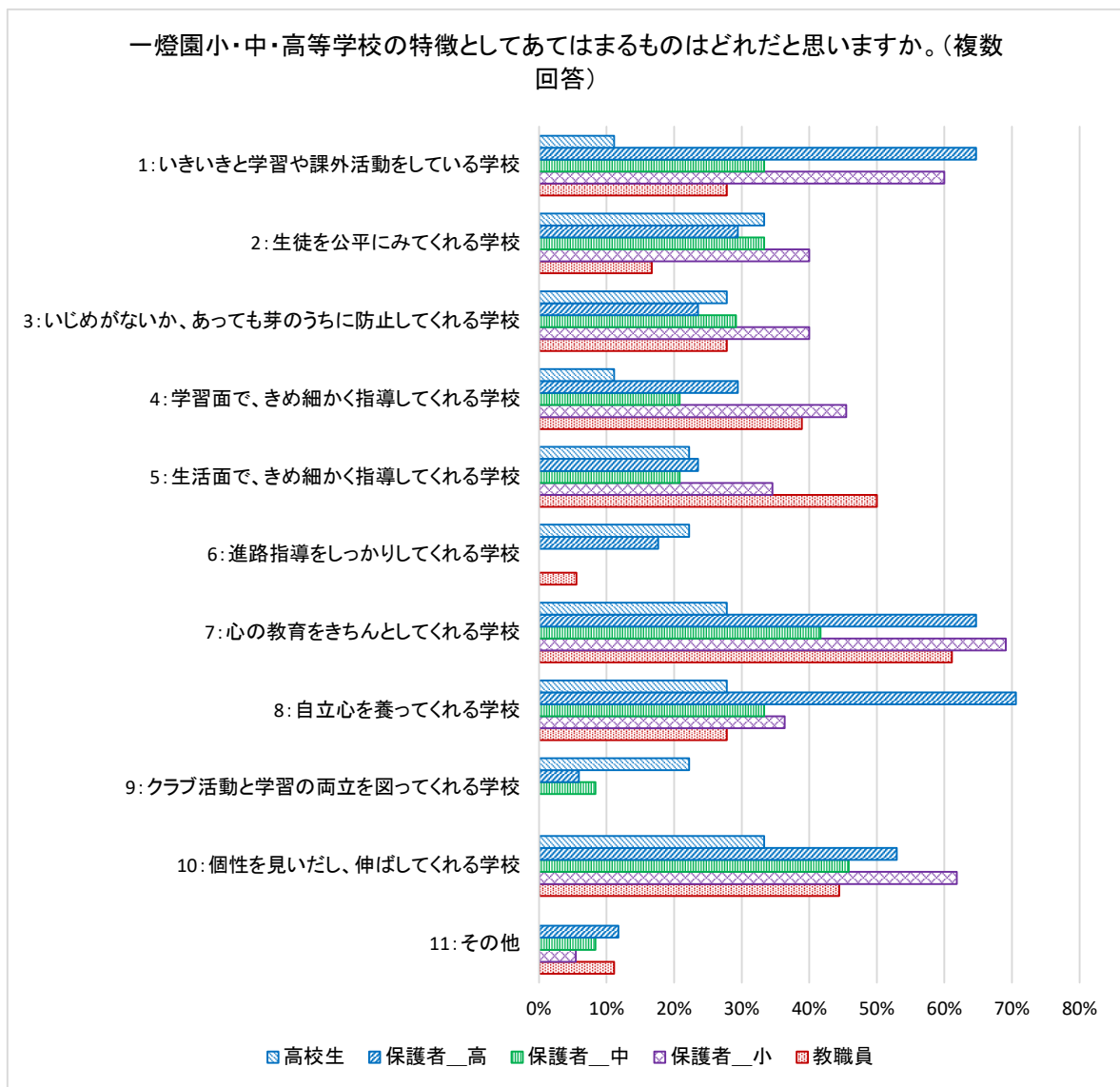
○小中高の教員間のつながり、目指す子ども像の統一、それに対する段階的な指導の変容、一燈園思想の理解

一燈園小・中・高等学校で伸ばしてほしい資質などがありますか。(複数回答)



その他（自由記述）※類似のご意見はまとめさせていただいております。

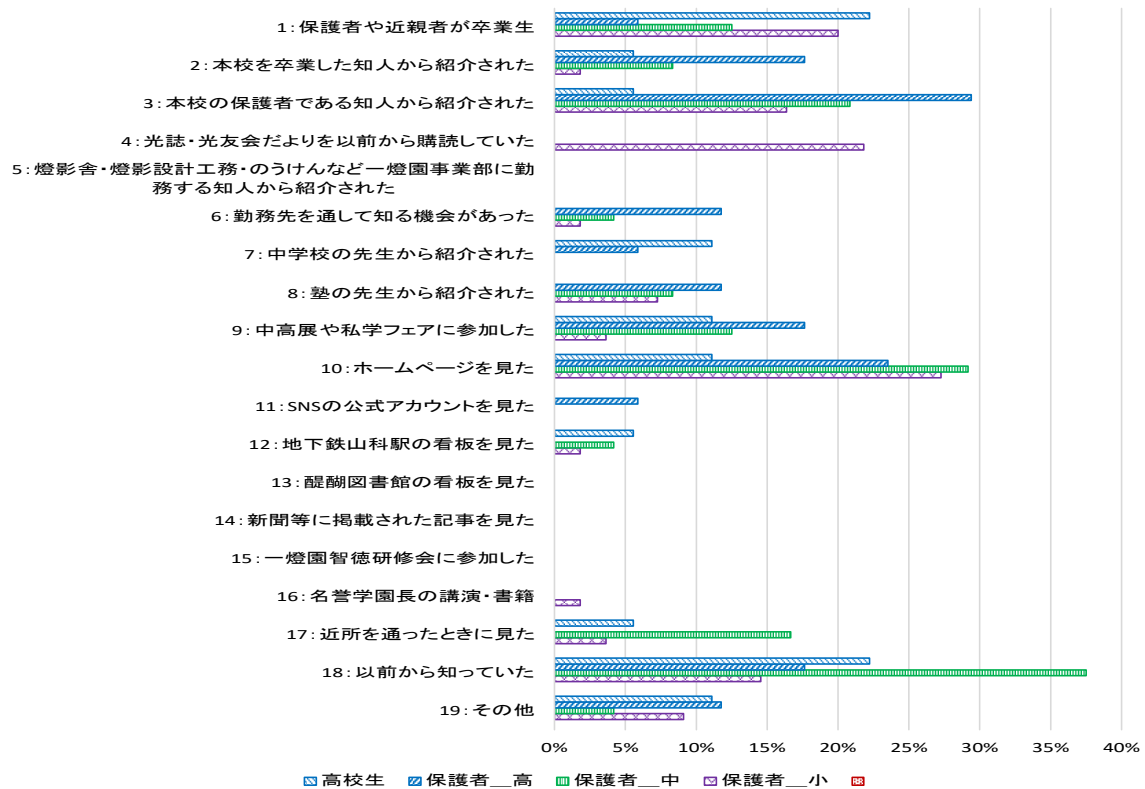
- 臨機応変に対応する心
- 自己肯定感を感じる力
- かけがえのない自分と出会う/平等であるという心。感謝。
- 自他の基本的人権を尊重することとはどういうことかを、学び、考え続けること。
- 自分で考える力、基礎的な学力と豊かな人間性があれば、何があっても強く生きていけると思います。過度な学力は、それぞれの家庭でしたらいいと思うので求めています。
- 一燈園思想に対する関心、深い理解、求道心。
- 人の役に立つ
- まともな「人間」
- 本物を見極められる力
- 芸術的感性
- 自分は自分で良いと思える基礎的な自尊感情



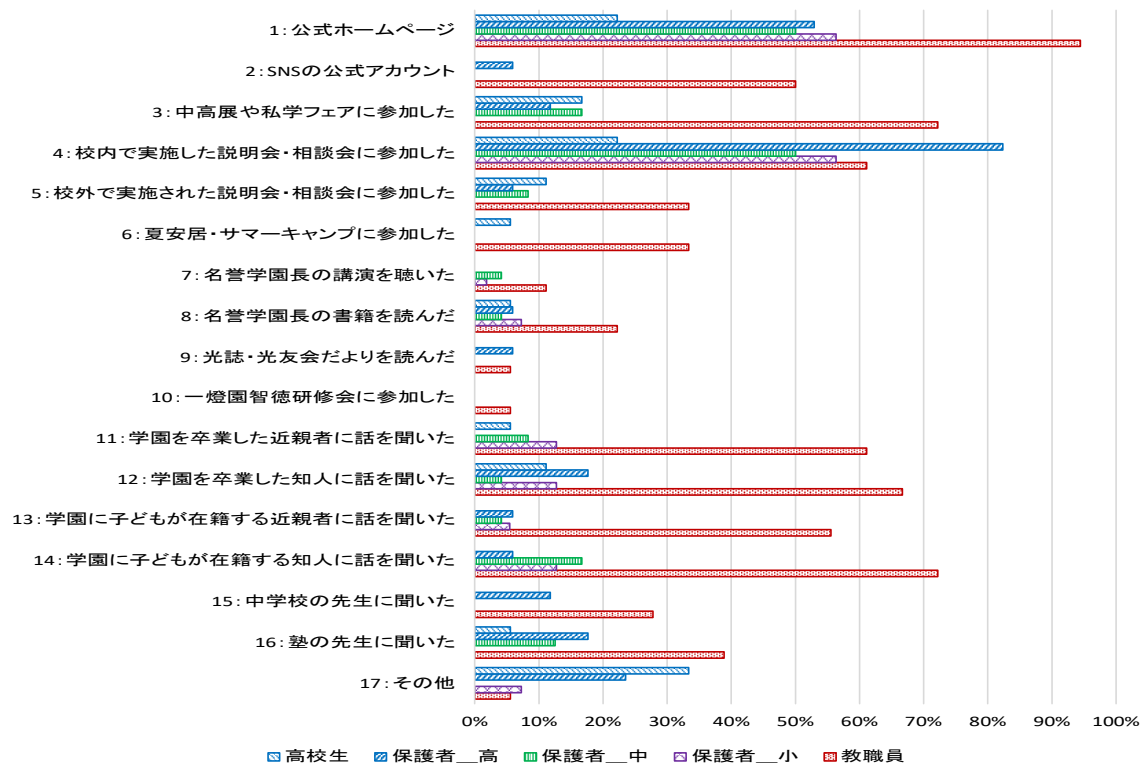
その他（自由記述）※類似のご意見はまとめさせていただいております。

- 他の学校にはない、汗をかくという教育に対しての効果はきつと、学校を離れてから少しずつ感じられていくと思います。実際、卒業後、子ども達は「一燈園に行って良かった。」と申しております。感謝。
- 先生との距離が近くて相談しやすい、気づいてもらえる
- 先生によって大差があります。＝学校。
- 日本独自の文化に触れる機会が多い、アイデンティティを育む教育に力を入れている
- この頃、学校帰りの疲れてるような様子が気になっています。コロナが続き、子どもたちへの負担が蓄積してる気がします。学校での楽しい時間がもっと増えたらいいなと思います。
- 他学年との交流。本物に触れる。心を整える。
- 仲間関係を育てつつ、個がいつそう豊かに生きてくような働きかけと、支える教育を行う学校である。なお、個の育ちと、仲間関係の育成は輻輳的になっていることを強く実感している。そしてこの学校教育実践において育つ個は、民主的な社会を創造していく担い手となっていくのだろうと感じさせる学校である。
- 一燈園精神を養ってくれる学校
- 豊かな自然の中で学ぶことができる学校

一燈園小・中・高等学校を知ったきっかけは何ですか。(複数回答)



受験しようと思われたときに参考にした本校の情報にはどのようなものがありますか。(複数回答)



VIII 令和3年度決算

〈学校会計について〉

1. 学校会計と企業会計との違いについて

企業会計では「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュフロー計算書」が作成されます。企業では営業活動の成績を損益計算書であらわし、単年度の事業状況を明確化し、経営成績を知ることによって収益を高めることに役立てます。

一方、学校会計では、学校法人会計基準により定められた会計処理を行い「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」及びこれらに付随する内訳表・明細表の各計算書類を作成します。

2. 各計算書類の目的

①「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収支の内容並びに当該会計年度における支払資金の収支の顛末を明らかにすることが目的であり、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に類似したものです。

「資金収支計算書」は収入と支出を一覧表示する形式となっているので、企業会計の損益計算書やキャッシュフロー計算書のように区分表示を行った「活動区分資金収支計算書」を補助的に作成します。

②「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況を示すもので、企業会計の損益計算書にあたるものです。

③「貸借対照表」は、年度末における学校法人の財政状態をあらわした計算書類で、企業会計の貸借対照表と同様のものです。

3. 基本金

学校会計の特徴として、基本金があります。基本金は学校法人会計基準に「学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入の内から組み入れた金額を基本金とする。」と規定されています。

基本金は、次の4種類があります。

①学校法人が設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額または新たな学校の設置もしくは既設の学校の規模の拡大もしくは教育の充実向上のために取得した固定資産の価額

ただし、固定資産を借入金又は未払い金により取得した場合において、当該借入金又は未払い金に相当する金額については、当該借入金又は未払い金の返済又は支払を行った会計年度において、相当する金額を基本金へ組み入れます。

②学校法人が新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てられる金銭その他の資産の額

③基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額

④恒常的に保持すべき資金

4. 財務比率のみかた

i 消費収支計算書関係比率

比 率 名	算 式
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金÷経常収入
寄付金比率	寄付金÷事業活動収入
補助金比率	補助金÷事業活動収入
人件費比率	人件費÷経常収入
教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入
管理経費比率	管理経費÷経常収入
借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入
基本金組入率	基本金組入額÷事業活動収入
減価償却費比率	減価償却額÷消費支出
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金
基本金組入後収支比率	事業活動支出÷（事業活動収入－基本金組入額）
経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入計

(注) 事業活動収支計算書関係の算式で使用している用語の内容について

経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計 事業活動収入＝経常収入＋特別活動収入計
 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計 事業活動支出＝経常支出＋特別活動支出計

ii 貸借対照表関係比率

分 類	比 率 名	算 式	評価
自己資金は 充実されて いるか	純資産構成比率	純資産÷（総負債＋純資産）	△
	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷（総負債＋純資産）	△
	基本金比率	基本金÷基本金要組入額	△
長期資金で固定資産は 賄われているか	固定比率	固定資産÷純資産	▼
	固定長期適合率	固定資産÷（純資産＋固定負債）	▼
資産構成は どうなっ ているか	固定資産構成比率	固定資産÷総資産	▼
	有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	▼
	特定資産構成比率	特定資産÷総資産	△
	流動資産構成比率	流動資産÷総資産	△
	減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価額	～
負債に備え る資産が蓄 積されてい るか	内部留保資産比率	（運用資産－総負債）÷総資産	△
	運用資産余裕比率	（運用資産－外部負債）÷経常支出	△
	流動比率	流動資産÷流動負債	△
	前受金保有率	現金預金÷前受金	△
	退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金÷退職給与引当金	△
	積立率	運用資産÷要積立額	△
負債の割合 はどうか	固定負債構成比率	固定負債÷（総負債＋純資産）	▼
	流動負債構成比率	流動負債÷（総負債＋純資産）	▼
	総負債比率	総負債÷総資産	▼
	負債比率	総負債÷純資産	▼

(注) 貸借対照表関係の算式で使用している用語の内容・評価の見方について

運用資産＝現金預金＋特定資産

外部負債＝借入金＋未払い金

要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金

△ 数値が高いほうがよい

▼ 数値が低いほうがよい

～ どちらともいえない

(1) 収支計算書

資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	90,209,674	人 件 費 支 出	199,399,372
手 数 料 収 入	417,400	教育研究経費支出	64,549,485
寄 付 金 収 入	27,894,466	管 理 経 費 支 出	9,948,092
補 助 金 収 入	161,951,880	借入金等利息支出	1,193,819
資 産 売 却 収 入	0	借入金等返済支出	9,636,000
付 随 事 業 収 入	12,902,842	施 設 関 係 支 出	0
受取利息・配当金収入	843	設 備 関 係 支 出	3,623,780
雑 収 入	2,456,786	資 産 運 用 支 出	5,000,000
借 入 金 等 収 入	0	そ の 他 の 支 出	17,981,283
前 受 金 収 入	3,563,873	資金支出調整勘定	△45,485
そ の 他 の 収 入	28,127,298	翌年度繰越支払資金	90,445,986
資金収入調整勘定	△12,801,849	支出の部 合計	401,732,332
前年度繰越支払資金	87,009,119		
収入の部 合計	401,732,332		

活動区分資金収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

教育活動による資金収支		科 目	金 額		科 目	金 額
	収入の部	学生生徒等納付金	90,209,674	支出の部	人 件 費	199,399,372
		手 数 料	417,400		教 育 研 究 経 費	64,549,485
		寄 付 金	27,894,466		管 理 経 費	9,948,092
		経 常 費 補 助 金	161,951,880			
		付 随 事 業 収 入	12,902,842			
		雑 収 入	2,456,786			
		教 育 活 動 収 入 計	295,833,048		教 育 活 動 支 出 計	273,896,949
	調 整 勘 定					1,371,548
教 育 活 動 収 支 差 額					23,307,647	
施設設備等による活動収支		科 目	金 額		科 目	金 額
	収入の部	施設設備関係納付金	0	支出の部	施 設 関 係 支 出	0
		施設設備関係寄附金	0		設 備 関 係 支 出	3,623,780
		施設設備関係補助金	0		施設設備引当特定資産繰入支出	5,000,000
		資 産 売 却 収 入	0			
		施設設備引当特定資産取崩収入	0			
		施設設備活動資金収入計	0		施設設備活動資金支出計	8,623,780
	調 整 勘 定					0
施設設備等活動資金収支差額					△8,623,780	
小計（教育活動資金収支差額＋施設設備等活動資金収支差額）						14,683,867

		科 目	金 額			科 目	金 額
その 他 の 活 動 資 金	収 入 の 部	借 入 金 等 収 入	0	支 出 の 部	借入金等返済支出	9,636,000	
		有価証券売却収入	0		有価証券購入支出	0	
		特定資産取崩収入	0		特定資産繰入支出	0	
		そ の 他 の 収 入	36,285,565		そ の 他 の 支 出	46,339,589	
		受取利息・配当金収入	843		借入金等利息支出	1,193,819	
		過 年 度 修 正 収 入	0		デリバティブ解約損支出	0	
					過 年 度 修 正 支 出	0	
		その他の活動資金収入計	36,286,408		その他の活動資金支出計	47,533,408	
		調 整 勘 定					0
	その他の活動資金収支差額					△11,247,000	
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）						3,436,867	
前年度繰越支払資金						87,009,119	
翌年度繰越支払資金						90,445,986	

事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

		科 目	金 額		科 目	金 額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	90,209,674	事業活動支出の部	人 件 費	200,404,603
		手 数 料	417,400		(うち退職給与引当金)	(1,347,231)
		経 常 費 寄 付 金	27,978,466		教 育 研 究 経 費	85,690,078
		経 常 費 補 助 金	161,951,880		(うち減価償却額)	(21,036,593)
		付 随 事 業 収 入	12,902,842		管 理 経 費	10,289,230
		雑 収 入	2,114,786		(うち減価償却額)	(341,138)
					徴 収 不 能 額 等	274,910
		教育活動収入計	295,575,048		教育活動支出計	296,658,821
教育活動収支差額					△1,083,773	
教育活動外収支	事業活動収入	受取利息・配当金	843	事業活動支出	借入金等利息	1,193,819
		その他の教育活動外収入	0		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外収入計	843		教育活動外支出計	1,193,819
	教育外活動収支差額					△1,192,976
経 常 収 支 差 額					△2,276,749	
特別特別収支	収入の部	資 産 売 却 差 額	0	支出の部	資 産 処 分 差 額	0
		その他の特別収入	0		その他の特別支出	0
		本 部 負 担 金 収 入	14,972,124		本 部 負 担 金 支 出	14,972,124
		特 別 収 入 計	14,972,124		特 別 支 出 計	14,972,124
特 別 収 支 差 額					0	
基本金組入前当年度収支差額					△2,276,749	
基本金組入額					△13,619,780	
当年度収支差額					△15,896,529	
前年度繰越収支差額					△289,764,880	
基本金取崩額					492,500	
翌年度繰越収支差額					△305,168,909	

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	550,883,043	固 定 負 債	91,052,190
有 形 固 定 資 産	512,465,664	長 期 借 入 金	83,022,000
特 定 資 産	38,371,479	退 職 給 与 引 当 金	8,030,190
その他の固定資産	45,900	流 動 負 債	18,423,553
流 動 資 産	100,339,087	負 債 の 部 合 計	109,475,743
現 金 預 金	90,445,986	純 資 産 の 部	
その他の流動資産	9,893,101	1 号 基 本 金	823,895,296
資 産 の 部 合 計	651,222,130	4 号 基 本 金	23,000,000
		翌年度繰越消費収支差額	△305,148,909
		純 資 産 の 部 合 計	541,746,387
		負債の部及び純資産の部合計	651,222,130

(注記)

- 重要な会計方針
退職金引当金の算定基準は次の通りである。
退職金の支給に備えるため、期末要支給額額59,532,100円を基にして、公益財団法人京都府私学退職金財団から交付金を控除した額の100%を計上している。
- 重要な会計方針の変更等
該当する事項はない。
- 減価償却額の累計額の合計額
409,174,557円
- 徴収不能引当金
徴収不能金の実績から、徴収不能引当金は0円とする。
- 担保に供されている資産の種類及び額
日本私立学校振興・共済事業団からの借入金
借入額 84,000,000円
担 保 幼稚園土地（自有地）の全て 3,532㎡
取得帳簿価額 5,345,000円
幼稚園建物の全て 1,624.81㎡
取得帳簿価額 246,684,637円
京都銀行からの借入金（いずみ幼稚園）
借入額 37,000,000円
担 保 無担保（一般財団法人懺悔奉仕光泉林が限定保証人）
京都銀行からの借入金（燈影ホームガーデン）
借入額 30,000,000円
担 保 無担保（一般財団法人懺悔奉仕光泉林が限定保証人）
- 翌会計年度以後の会計年度において基本金へ組入れを行うこととなる金額は次のとおりである。
101,218,207円
- 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資産を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
- その他財政および経営の状況を正確に判断するために必要な事項に該当する事項はない。

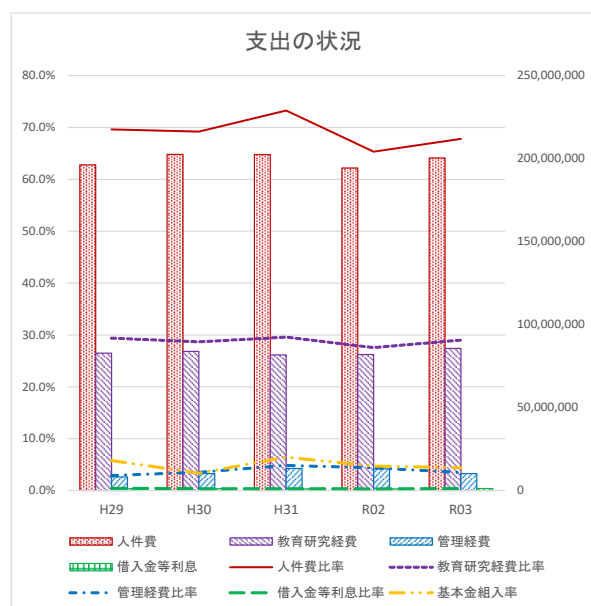
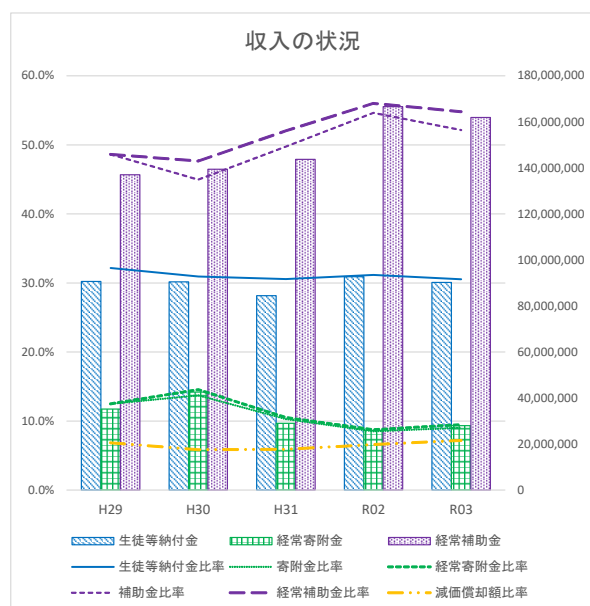
(2) 財務分析

◎学校法人全体の収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31(R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
生徒等納付金比率	32.2%	30.9%	30.6%	31.2%	30.5%	53.4%	55.5%
寄附金比率	12.5%	13.7%	10.3%	8.5%	9.0%	2.5%	2.2%
補助金比率	48.6%	44.9%	49.7%	54.6%	52.2%	36.0%	36.3%
減価償却額比率	6.8%	5.9%	5.9%	6.6%	7.2%	10.7%	8.8%
生徒等納付金	90,618,680	90,477,396	84,457,550	92,749,140	90,209,674		
経常寄附金	35,187,234	42,553,300	29,035,643	25,940,979	27,978,466		
経常補助金	137,038,336	139,413,452	143,714,302	166,640,130	161,951,880		

支出の状況	H29	H30	H31(R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
人件費比率	69.6%	69.2%	73.3%	65.3%	67.8%	64.3%	55.5%
教育研究経費比率	29.4%	28.6%	29.6%	27.5%	29.0%	26.9%	31.0%
管理経費比率	2.9%	3.5%	4.8%	4.4%	3.5%	6.6%	7.1%
借入金等利息比率	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%
基本金組入率	5.8%	3.4%	6.4%	4.7%	4.4%	9.0%	6.2%
人件費	196,232,574	202,463,524	202,407,192	194,382,281	200,404,603		
教育研究経費	82,813,137	83,802,418	81,706,783	81,952,125	85,690,078		
管理経費	8,199,912	10,277,312	13,360,429	13,069,884	10,289,230		
借入金等利息	1,183,816	1,075,791	971,254	955,219	1,193,819		

収支の状況	H29	H30	H31(R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
事業活動収支差額比率	△2.3%	△1.7%	△7.5%	2.4%	△0.7%	3.5%	8.1%
人件費依存率	216.5%	223.8%	239.7%	209.6%	222.2%	120.2%	103.7%
基本金組入後収支比率	108.6%	105.2%	114.9%	102.4%	105.4%	106.1%	99.1%
経常収支差額比率	△2.3%	△1.8%	△8.1%	2.4%	△0.8%	1.8%	7.1%
教育活動収支差額比率	△1.9%	△1.4%	△7.7%	2.7%	△0.4%	1.2%	7.1%

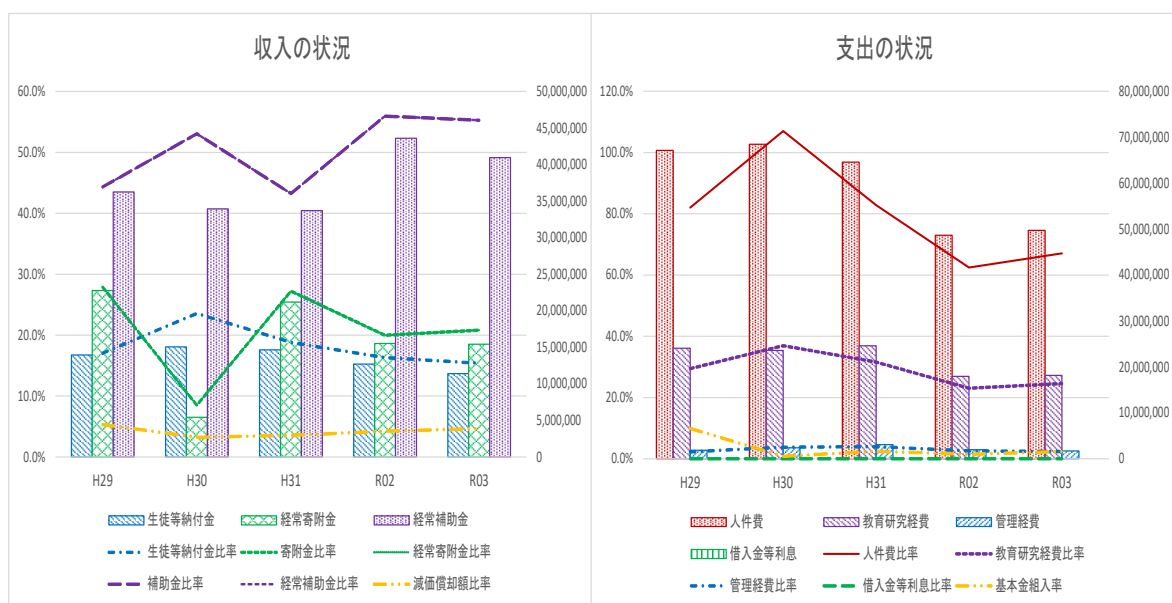


◎一燈園高等学校の収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
生徒等納付金比率	17.0%	23.5%	18.8%	16.3%	15.4%	53.3%	59.0%
寄附金比率	27.8%	8.5%	27.2%	19.9%	20.8%	1.9%	1.6%
補助金比率	44.3%	53.0%	43.2%	56.0%	55.3%	37.7%	34.2%
減価償却額比率	5.3%	3.2%	3.6%	4.2%	4.6%	11.0%	8.5%
生徒等納付金	13,940,100	15,053,300	14,646,700	12,707,200	11,403,200		
経常寄附金	22,776,328	5,435,403	21,203,572	15,535,070	15,429,814		
経常補助金	36,258,550	33,931,700	33,709,350	43,593,200	40,963,400		

支出の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
人件費比率	82.0%	107.0%	82.8%	62.5%	67.1%	64.3%	58.9%
教育研究経費比率	29.4%	36.9%	31.5%	23.0%	24.5%	27.7%	31.3%
管理経費比率	2.3%	3.8%	4.0%	2.5%	2.3%	5.7%	5.7%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
基本金組入率	9.9%	0.8%	2.4%	1.5%	2.3%	8.5%	6.4%
人件費	67,126,532	68,455,397	64,572,947	48,686,176	49,710,644		
教育研究経費	24,067,552	23,588,049	24,584,295	17,933,837	18,182,846		
管理経費	1,873,841	2,402,389	3,096,653	1,983,192	1,721,301		
借入金等利息	0	0	0	0	0		

収支の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
事業活動収支差額比率	△13.7%	△47.6%	△18.3%	11.9%	6.1%	3.6%	4.6%
人件費依存率	481.5%	454.8%	440.9%	383.1%	435.9%	120.6%	99.8%
基本金組入後収支比率	126.3%	148.8%	121.2%	89.4%	96.1%	105.3%	102.0%
経常収支差額比率	△13.7%	△47.6%	△18.3%	11.9%	6.1%	2.1%	3.9%
教育活動収支差額比率	△13.7%	△47.6%	△18.3%	11.9%	6.1%	1.7%	3.6%

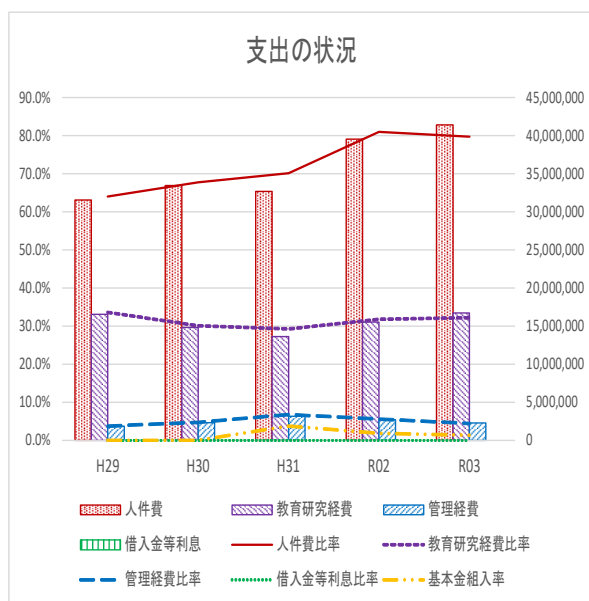
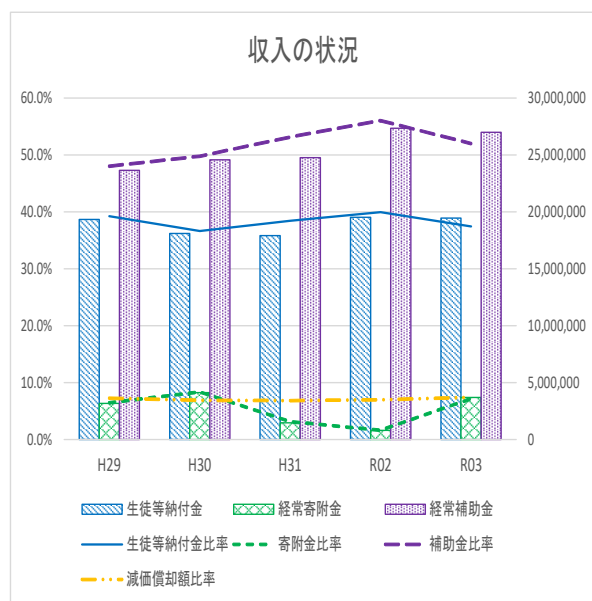


◎一燈園中学校の収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
生徒等納付金比率	39.3%	36.6%	38.4%	40.0%	37.5%	62.0%	66.1%
寄附金比率	6.4%	8.3%	3.1%	1.6%	7.1%	2.7%	4.0%
補助金比率	48.0%	49.8%	53.2%	56.0%	52.0%	28.6%	25.5%
減価償却額比率	7.3%	6.9%	6.8%	6.9%	7.4%	11.6%	9.6%
生徒等納付金	19,342,310	18,098,900	17,908,200	19,518,000	19,459,300		
経常寄附金	3,162,121	4,122,483	1,454,316	789,866	3,701,273		
経常補助金	23,665,406	24,573,422	24,773,522	27,360,400	27,002,000		

支出の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
人件費比率	64.1%	67.8%	70.1%	81.0%	79.7%	63.7%	63.5%
教育研究経費比率	33.6%	30.1%	29.3%	31.8%	32.2%	26.8%	28.1%
管理経費比率	3.8%	4.7%	6.8%	5.6%	4.4%	5.4%	4.5%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%
基本金組入率	0.0%	0.0%	3.8%	1.8%	1.3%	7.1%	6.2%
人件費	31,563,300	33,478,474	32,685,246	39,550,357	41,420,302		
教育研究経費	16,548,338	14,845,140	13,631,717	15,528,261	16,737,385		
管理経費	1,860,137	2,342,606	3,171,708	2,713,410	2,299,888		
借入金等利息	0	0	0	0	0		

収支の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
事業活動収支差額比率	△1.4%	△2.6%	△6.2%	△18.4%	△16.4%	5.2%	4.5%
人件費依存率	163.2%	185.0%	182.5%	202.6%	212.9%	102.7%	96.1%
基本金組入後収支比率	101.4%	102.6%	110.3%	120.6%	118.0%	102.1%	101.8%
経常収支差額比率	△1.4%	△2.6%	△6.2%	△18.4%	△16.4%	3.8%	3.8%
教育活動収支差額比率	△1.4%	△2.6%	△6.2%	△18.4%	△16.4%	3.4%	3.5%

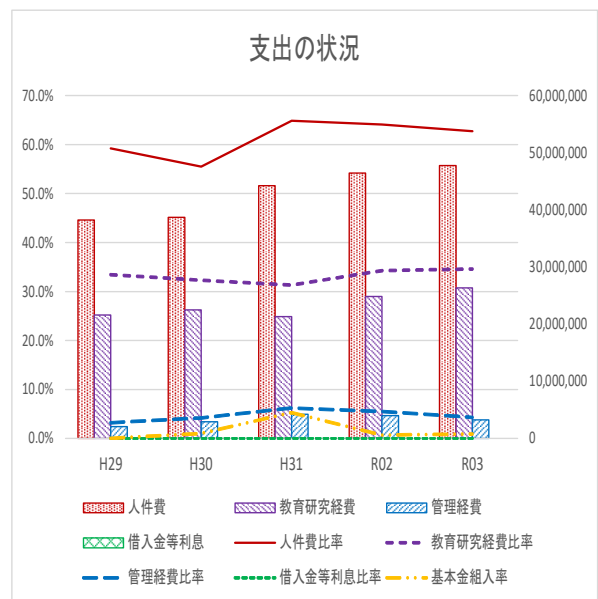
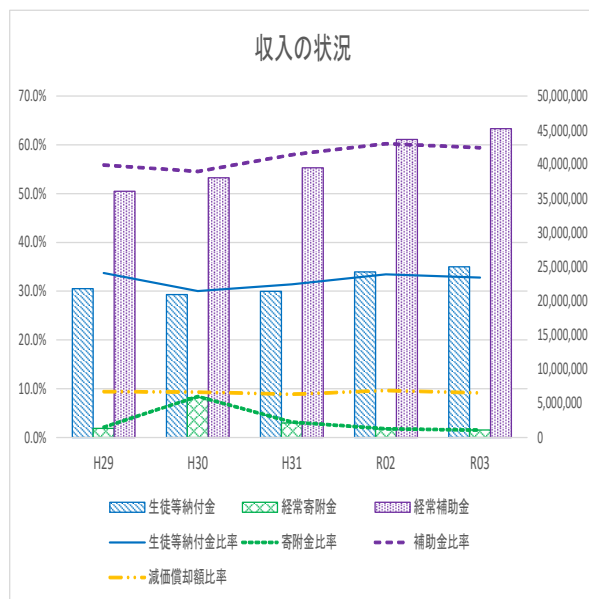


◎一燈園小学校の収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
生徒等納付金比率	28.3%	33.8%	30.0%	31.4%	33.4%	62.1%	67.6%
寄附金比率	2.6%	2.1%	8.4%	3.1%	1.7%	4.8%	2.3%
補助金比率	62.4%	55.9%	54.5%	57.9%	60.2%	25.3%	22.6%
減価償却額比率	5.0%	9.4%	9.3%	8.8%	9.6%	12.8%	12.3%
生徒等納付金	22,143,300	21,792,200	20,944,800	21,417,600	24,237,000		
経常寄附金	2,032,255	1,352,694	5,850,259	2,134,355	1,252,818		
経常補助金	48,761,000	36,064,800	38,030,200	39,514,200	43,638,000		

支出の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
人件費比率	47.1%	59.2%	55.5%	64.9%	64.1%	63.6%	64.5%
教育研究経費比率	27.6%	33.4%	32.3%	31.3%	34.3%	30.8%	29.8%
管理経費比率	3.0%	3.2%	4.2%	6.2%	5.5%	5.6%	3.9%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%
基本金組入率	0.6%	0.0%	1.0%	5.3%	0.7%	13.7%	10.7%
人件費	36,849,024	38,233,715	38,707,712	44,241,303	46,458,749		
教育研究経費	21,569,569	21,594,724	22,496,421	21,327,414	24,830,450		
管理経費	2,323,424	2,077,409	2,919,754	4,213,839	3,987,351		
借入金等利息	0	0	0	0	0		

収支の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
事業活動収支差額比率	22.3%	4.1%	8.0%	△2.3%	△3.9%	1.1%	1.7%
人件費依存率	166.4%	175.4%	184.8%	206.6%	191.7%	114.1%	95.4%
基本金組入後収支比率	78.2%	95.9%	92.9%	108.0%	104.6%	114.6%	110.1%
経常収支差額比率	22.3%	4.1%	8.0%	△2.3%	△3.9%	△0.3%	1.6%
教育活動収支差額比率	22.3%	4.1%	8.0%	△2.3%	△3.9%	△0.8%	1.0%

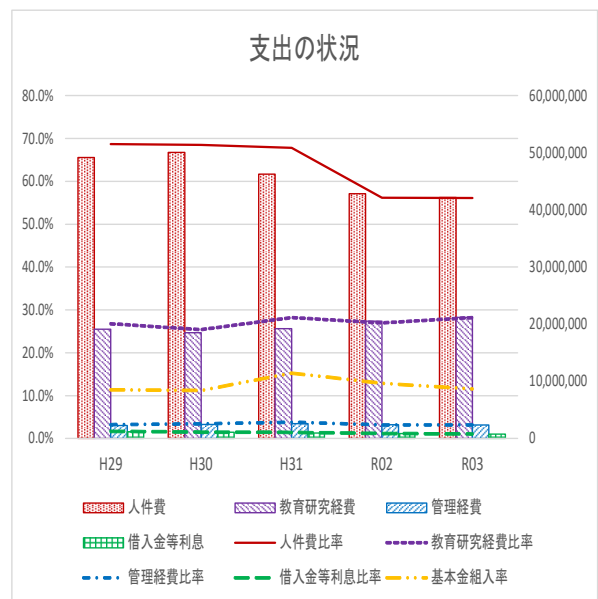
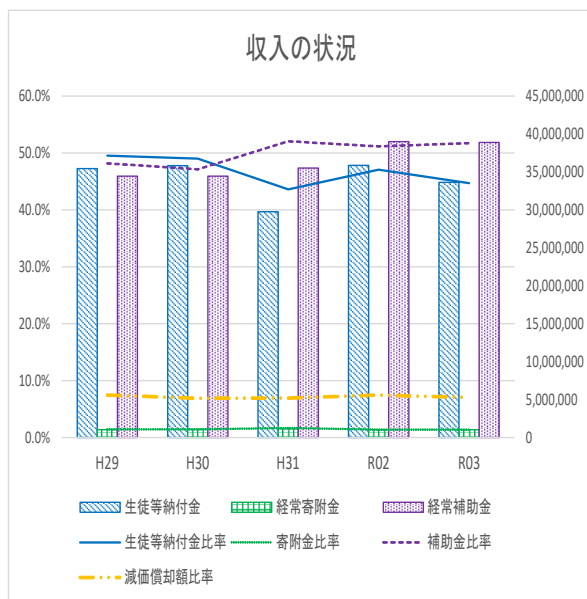


◎いずみ幼稚園の収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
生徒等納付金比率	49.5%	49.0%	43.6%	47.1%	44.7%	35.1%	51.8%
寄附金比率	1.4%	1.4%	1.7%	1.4%	1.4%	1.5%	3.8%
補助金比率	48.2%	47.1%	52.0%	51.2%	51.7%	54.9%	35.7%
減価償却額比率	7.4%	6.8%	6.9%	7.4%	7.0%	8.9%	7.6%
生徒等納付金	35,451,050	35,824,400	29,762,950	35,869,040	33,623,700		
経常寄附金	1,022,000	1,042,000	1,134,000	1,030,000	1,021,007		
経常補助金	34,467,000	34,439,000	35,502,300	38,996,250	38,903,000		

支出の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
人件費比率	68.7%	68.5%	67.8%	56.2%	56.1%	65.1%	74.1%
教育研究経費比率	26.7%	25.4%	28.2%	26.9%	28.2%	24.0%	35.6%
管理経費比率	3.2%	3.4%	3.8%	3.2%	3.2%	5.9%	7.4%
借入金等利息比率	1.7%	1.5%	1.4%	1.1%	1.0%	0.1%	0.1%
基本金組入率	11.4%	11.1%	15.3%	12.8%	11.5%	9.4%	7.7%
人件費	49,149,827	50,078,155	46,239,722	42,815,253	42,191,295		
教育研究経費	19,131,699	18,531,490	19,235,187	20,531,645	21,177,888		
管理経費	2,286,092	2,471,121	2,578,177	2,415,089	2,381,909		
借入金等利息	1,183,816	1,075,791	971,254	863,216	757,353		

収支の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
事業活動収支差額比率	△0.2%	1.1%	△1.5%	12.6%	11.2%	6.8%	△15.3%
人件費依存率	138.6%	139.8%	155.4%	119.4%	125.5%	185.8%	142.9%
基本金組入後収支比率	113.1%	111.3%	119.8%	100.3%	100.3%	102.9%	125.0%
経常収支差額比率	△0.2%	1.1%	△1.5%	12.6%	11.2%	4.9%	△17.1%
教育活動収支差額比率	1.4%	2.7%	0.2%	13.7%	12.2%	4.7%	△17.4%

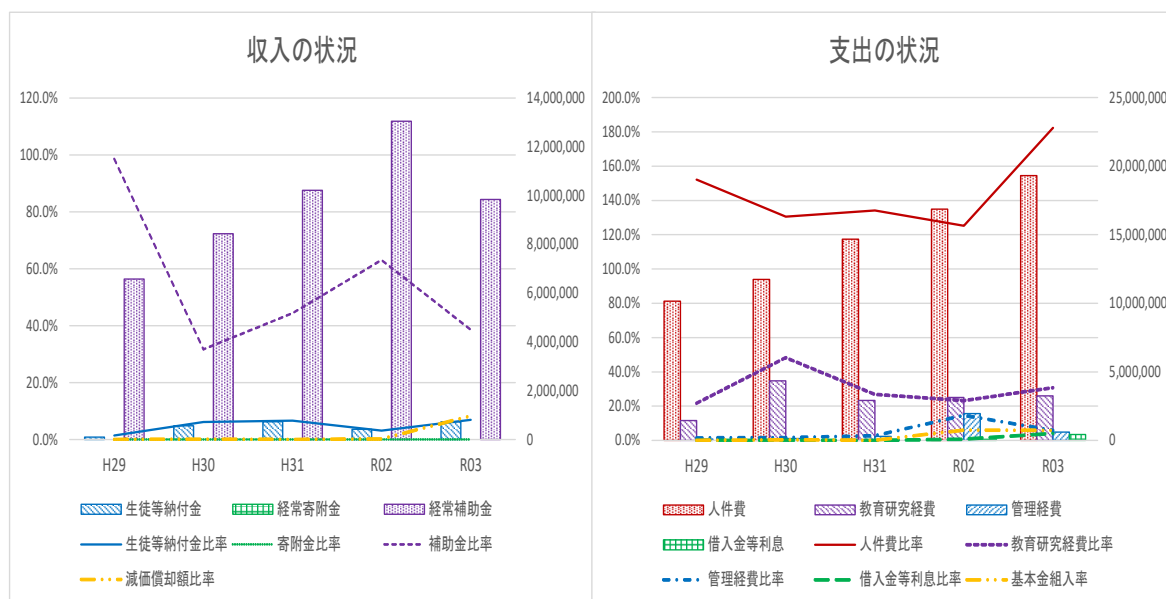


◎燈影ホームガーデンの収支の状況

収入の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03		
生徒等納付金比率	1.4%	6.2%	6.6%	3.1%	6.9%		
寄附金比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
補助金比率	98.6%	31.7%	44.3%	63.0%	38.5%		
減価償却額比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	8.2%		
生徒等納付金	93,020	555,996	722,100	417,900	732,874		
経常寄附金	0	0	0	0	0		
経常補助金	6,582,580	8,439,130	10,214,930	13,052,280	9,847,080		

支出の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03		
人件費比率	152.2%	130.6%	134.1%	125.3%	182.3%		
教育研究経費比率	21.6%	48.3%	26.8%	23.2%	30.7%		
管理経費比率	1.5%	1.6%	2.7%	14.6%	5.9%		
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	4.1%		
基本金組入率	0.0%	0.3%	0.0%	6.0%	5.9%		
人件費	10,159,200	11,743,786	14,667,974	16,871,746	19,304,327		
教育研究経費	1,443,075	4,341,318	2,928,170	3,127,932	3,254,165		
管理経費	100,273	141,442	300,052	1,970,842	620,556		
借入金等利息	0	0	0	92,003	436,466		

収支の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03		
事業活動収支差額比率	△75.3%	39.1%	22.3%	△6.5%	7.6%		
人件費依存率	10921.5%	2112.2%	2031.3%	4037.3%	2634.1%		
基本金組入後収支比率	175.3%	61.1%	77.7%	113.4%	98.2%		
経常収支差額比率	△75.3%	△80.4%	△63.6%	△63.8%	△123.0%		
教育活動収支差額比率	△75.3%	△80.4%	△63.6%	△63.1%	△118.9%		



◎学校法人の資産の状況

資産の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
固定資産構成比率	84.5%	82.2%	86.6%	84.6%	84.6%	84.9%	87.4%
有形固定資産構成比率	78.3%	76.0%	81.3%	79.6%	78.7%	64.4%	67.6%
特定資産構成比率	6.1%	6.2%	5.3%	5.0%	5.9%	16.8%	16.5%
流動資産構成比率	15.5%	17.8%	13.4%	15.4%	15.4%	15.1%	12.6%
減価償却比率	41.3%	38.8%	40.2%	42.3%	44.4%	53.5%	56.1%
有形固定資産	527,501,072	520,591,694	515,117,809	530,219,615	512,465,664		
特定資産	41,169,779	42,187,079	33,371,479	33,371,479	38,371,479		
流動資産	104,310,009	121,974,743	84,750,821	102,547,264	100,319,087		

負債の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
固定負債構成比率	14.1%	12.6%	12.4%	14.9%	14.0%	8.4%	10.0%
流動負債構成比率	2.1%	5.9%	2.9%	3.4%	2.8%	6.1%	5.4%
総負債比率	16.3%	18.5%	15.3%	18.3%	16.8%	14.5%	15.4%
負債比率	19.4%	22.6%	18.0%	22.5%	20.2%	17.0%	18.2%
固定負債	95,200,259	86,160,659	78,276,959	99,340,959	91,052,190		
流動負債	14,352,054	40,200,269	18,443,805	22,840,163	18,423,553		

資金の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
純資産構成比率	83.7%	81.5%	84.7%	81.7%	83.2%	85.5%	84.6%
繰越収支差額構成比率	△35.5%	△38.7%	△46.0%	△45.0%	△48.2%	△24.1%	△20.2%
基本金比率	89.2%	90.5%	90.9%	88.2%	89.3%	95.0%	95.4%

長期資金と固定資産の状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
固定比率	101.1%	100.8%	102.2%	103.6%	101.7%	99.3%	103.4%
長期固定比率	86.5%	87.3%	89.2%	87.6%	87.1%	90.4%	92.5%

負債への備えの状況	H29	H30	H31 (R01)	R02	R03	R02全国平均	R02京都府平均
内部留保資産比率	4.2%	0.5%	2.0%	△0.3%	3.0%	17.8%	12.8%
運用資産余裕比率	0.14年	0.04年	0.08年	0.04年	0.12年	1.06年	0.89年
流動比率	726.8%	303.4%	459.5%	449.0%	544.5%	247.2%	231.8%
前受金保有率	3009.1%	3402.0%	1975.1%	2881.4%	2537.9%	707.9%	625.5%
退職給与引当特定資産保有率	95.9%	101.8%	97.3%	83.5%	69.5%	71.9%	79.6%
積立率	39.4%	35.9%	29.1%	30.5%	30.9%	64.0%	65.2%

資産の状況、負債の状況、資金の状況は概ね全国平均や京都府平均と大きな差異はないといえる範囲だろうと思われるが、その中で、特定資産構成比率、繰越収支差額構成比率が全国平均や京都府平均と比べて著しく低いことに留意が必要であろう。

負債への備えのうち、内部留保資産比率、運用資産余裕比率、積立率が全国平均や京都府平均から著しく低い。運用資産余裕比率は、現預金など流動性のある資産が経常支出の何年分あるかという数値である。内部留保資産比率とともに、昨年度より好転しているとはいえ、決して楽観視できる数値ではない。

